

2022年7月6日～4日

参院選（情勢、世論調査）、憲法

### 第61回自公、改選70議席の勢い 改憲4党で3分の2超も 朝日終盤情勢

朝日新聞デジタル 2022年7月5日 22時30分



朝日情勢調査

#### 各党獲得議席の推計

党名	合計		選挙区		比例区	改選 欠1	非改選 欠1	改選前 勢力 欠2	
	下 限	上 限	下 限	上 限	下 限				上 限
自民	56	65	41	46	15	19	55	56	111
公明	12	15	6	7	6	8	14	14	28
立憲	12	20	7	12	5	8	23	22	45
維新	10	16	4	7	6	9	6	9	15
国民	2	7	0	3	2	4	7	5	12
共産	3	8	0	3	3	5	6	7	13
れいわ	1	5	0	1	1	4	0	2	2
社民	0	1	0	0	0	1	1	0	1
N党	0	1	0	0	0	1	0	1	1
諸派	0	3	0	0	0	3	0	0	0
無所属	4	8	4	8	-	-	8	7	15

非改選を争った改選24区、議席は自民、朝日新聞は立憲、維新、公明、国民、れいわ、社民、N党、諸派、無所属の順に推計した。選挙区は自民、公明、立憲、維新、国民、れいわ、社民、N党、諸派、無所属の順に推計した。

10日投開票の参院選について、朝日新聞社は4、5日、全国の有権者を対象に電話とインターネットによる情勢調査を実施した。取材による情報も加え、終盤情勢を分析したところ、自民、公明の与党は引き続き堅調で、改選過半数（63議席）を確保し、70議席台に乗る勢い。非改選70議席を含めて定数の過半数（125議席）を上回りそうだ。立憲民主は焦点の1人区で先行を許す選挙区が増え、改選23議席を下回る見通し。維新は改選6議席倍増の勢いを維持し、比例区では立憲を上回る可能性も出てきた。

【電話調査の方法】 コンピューターで無作為に電話番号を作成し、固定電話と携帯電話に調査員が電話をかける RDD 方式で、4、5の両日に全国の有権者を対象に調査した。固定は有権者がいると判明した9207世帯から5244人（回答率57%）、携帯は有権者につながった1万1340件のうち5147人（同45%）、計1万391人の有効回答を得た。

【インターネット調査の方法】 4、5の両日、インターネット調査会社4社に委託して実施した。各社の登録モニターのうち、全国47都道府県の有権者を対象に調査した。全国で計8万576件の有効回答を得た。

調査時点で投票態度を明らかにしていない人が選挙区、比例区とも4割前後おり、情勢は変わりうる。

与党に、国会での改憲論議に積極的な維新や国民民主を合わせると80議席を上回り、非改選84議席を含めると改憲の国会発議に必要な3分の2（166議席）を超える可能性が強まっている。

各選挙区の終盤情勢の詳細は、8日朝にお伝えする予定。自民、比例区ではやや失速気味 立憲は改選7議席に届く可能性も

自民は、32ある1人区のうち…  
残り2720文字

### 1人区、自民有利は28選挙区、野党系優勢は2選挙区 朝日終盤情勢

朝日新聞デジタル 君島浩、北見英城、寺本大蔵 2022年7月5日 22時30分

長丁場の参院選も、いよいよ終盤。朝日新聞の終盤情勢調査では、勝敗のカギを握る1人区（改選数1の選挙区）で変化もあるが、全体で見れば与党が安定した戦いを続ける。野党陣営は少しでも上積みを図ろうと、重点区を絞るなど追い込み懸命だ。勝敗を左右する32の1人区…

残り1503文字

### 第19回「首相の靖国参拝」自民超え96%賛成、参政党とは 議席獲得も視野

朝日新聞デジタル 2022年7月5日 22時30分

朝日新聞社の参院選序盤と終盤の情勢調査で、政治団体の参政党が比例区で議席を獲得する可能性があるという結果が出た。どんな政党か、朝日新聞社と東京大学・谷口将紀研究室の共同調査から政策の立ち位置を分析した。

参政党は元衆院議員と会社役員、歯科医師が共同代表を務め、ホームページで「ゼロからつくった政治団体。特定の支援団体も、資金源もない」と説明する。地方議員らが名を連ねている。

共同調査は候補者545人中、512人が答えた（回答率94%）。参政党は国政選挙に初めて50人（選挙区45人、比例区5人）を擁立し、全員が回答した。

経済政策では「国内産業を保…  
残り342文字

### 参議院選挙 全選挙区の中盤情勢...読売新聞調査

読売新聞 2022/07/05 10:00

読売新聞社は1～3日の3日間、全国世論調査を実施し、第26回参院選（10日投開票）の中盤情勢を探りました。各選挙区の詳しい情勢を、都道府県のリンクからご覧いただけます。

#### 参議院選挙 北海道選挙区の中盤情勢

読売新聞 2022/07/05 06:00

長谷川を徳永、石川、船橋追う

長谷川が先行し、徳永、石川、船橋が残る2議席を巡って小差で競り合う。改選定数が2から3に増えた2016年参院選では旧民進、19年は自民が2議席を取った。今回は自民、立民がそれぞれ2議席獲得を目指し、全力を挙げている。

長谷川は現職としての高い知名度や強固な後援会組織を生かし、大都市の札幌市をはじめ全道で支持を広げる。自民支持層の約4割を固めたほか、公明支持層の約3割にも浸透している。労組を支持基盤とする徳永は、立民支持層の約4割をまとめ、無党派層や内閣不支持層の約2割からも支持を得る。

石川は立民支持層の4割強を固めたほか、強い基盤を持つ十勝地方を中心に町村地域で一定の強さを見せている。船橋は党幹部が連日、応援に駆けつけるなどして自民支持層の4割弱に浸透したほか、公明支持層も4割弱固めた。商工自営業者の3割弱の支持を得ており、団体組織票固めを急ぐ。畠山は共産支持層の約8割を固め、懸命に内閣不支持層の取り込みを図っている。

## 参議院選挙 青森選挙区の中盤情勢

読売新聞 2022/07/05 06:05

田名部 抜け出す

田名部が頭ひとつ抜け出している展開。立民支持層をほぼ固めたほか、「自主支援」とした共産支持層からも約9割の支持を得る。内閣不支持層の6割強や無党派層の約5割からも支持を得ており、大栗田の青森市などで積極的に街頭に立つ戦略が効果を発揮しているとみられる。自民支持層の3割弱にも浸透している。

斉藤は国会議員や市町村長、県議らを巻き込んだ組織戦を積極的に展開し、自民、公明支持層の約6割を固めた。内閣支持層の約5割に浸透しているが、知名度不足から無党派層の支持獲得に苦労している。

## 参議院選挙 宮城選挙区の中盤情勢

読売新聞 2022/07/05 06:15

桜井先行 小畑が迫る

桜井が先行し、小畑が迫りかける展開となっている。桜井は旧民主党出身で自民入党は今年4月だが、自民支持層と公明支持層のいずれも8割弱を固めた。県医師会や農協などの業界団体票の獲得に力を入れている。無党派層からの支持は2割弱にとどまっており、地盤の仙台市からさらに支持を広げるため、県内各地を回っている。

小畑は知名度アップに懸命となっている。泉代表などの党幹部が次々駆け付けており、立民支持層の9割弱を固めた。無党派層からの支持は約3割で桜井をリードしており、各地で街頭演説を重ね、支持の上積みを目指す。

## 参議院選挙 福島選挙区の中盤情勢

読売新聞 2022/07/05 06:30

星と小野寺の接戦

星と小野寺の接戦となっている。星は、業界団体や企業回りを精力的に進めるなど、組織戦に重点を置いており、自民と公明の支持層の8割弱を固めた。公示日には岸田首相が応援に駆け付けたほか、県医師会幹部として取り組んだ新型コロナウイルス対策などの実績を強調し、2割に届いていない無党派層からの支持拡大を目指す。

立民、国民、社民からの推薦を受ける野党統一候補の小野寺は、立民支持層の約8割を固めた。政府の物価高対策への批判を強めており、無党派層からは5割弱、内閣不支持層からは5割強の支持を獲得している。

## 参議院選挙 埼玉選挙区の中盤情勢

読売新聞 2022/07/05 06:50

関口 頭ひとつリード

関口が頭ひとつ抜け出し、残る3議席を西田、高木、上田、加来、梅村の5人が激しく競り合っている。関口は組織戦を展開し、自民支持層の6割強を固めた。幅広い職種、年齢層から支持を集める。緩みを警戒し、「圧勝」に向けて引き締めを図る。

西田は公明支持層を約9割まで固めた。推薦を受ける自民支持層は1割弱で、自民幹部が応援に入るなど、てこ入れを図る。

高木は立民支持層の8割弱を固めた。無党派層の約1割を取り

込んでいるが、立民以外の野党支持層への浸透に苦戦している。

上田は県知事を務めた知名度と独自のネットワークを生かして戦いを進める。国民の玉木代表からも全面支援を受け、国民支持層の5割強を固めた。

加来は維新支持層の6割強を固めた。発信力のある吉村洋文・大阪府知事に党幹部を投入し、1割弱の支持にとどまる無党派層の支持拡大を図る。梅村は共産支持層の約8割を固め、政権批判票の取り込みを目指す。

## 参議院選挙 千葉選挙区の中盤情勢

読売新聞 2022/07/05 06:55

猪口と小西が先行

猪口と小西が先行し、残る1議席を巡って臼井と佐野が激しくしのぎを削っている。2016年参院選でトップ当選した猪口は、県内全域での高い知名度を生かし、街頭演説をこまめにこなす。自民支持層の約4割を固めた。元少子化相として子育て支援に取り組んだ実績をアピールし、浮動票の取り込みを狙う。

小西は立民支持層の8割強を固め、無党派層の2割弱を取り込んだ。物価高について岸田首相の責任を追及し、内閣不支持層から3割弱の支持を集める。

臼井は父の日出男・元防衛長官の地盤だった千葉市を中心に組織固めに力を入れ、都市部で約3割の支持を固めた。党幹部らが相次ぎ応援に入り、自民支持層を4割弱まとめた。

佐野は維新支持層の6割弱を固めた。1割弱の支持にとどまる無党派層の取り込みを目指す。知名度不足が課題だ。

斉藤と磯部は支持層以外への広がりを欠き、苦戦している。

## 参議院選挙 東京選挙区の中盤情勢

読売新聞 2022/07/05 07:00

朝日に蓮舫、竹谷、生稲続く

朝日が安定感を増し、蓮舫、竹谷、生稲が続く展開。残る2議席を巡り、山添、海老沢、山本、松尾が激しいデッドヒートを繰り広げている。朝日は、支持団体回りを徹底し、自民支持層の約4割を固めた。ビーチバレー元五輪選手の経歴を生かし、浮動票の取り込みを狙う。

2010年、16年とトップ当選を果たした蓮舫は立民支持層の5割弱を固めた。選挙区に入るのは数日で、残りは他の選挙区の応援に回りつつ、追い上げに力を入れている。竹谷は公明支持層を9割強まとめた。専業主婦の支持拡大や無党派層の取り込みも狙う。元アイドルの生稲は自民支持層の2割強を固めた。最大派閥・安倍派の支援を受け、組織票固めに奔走する。

山添は、共産支持層の8割強を固めた。内閣不支持層から2割弱の支持を得た。海老沢は維新支持層の約6割をまとめた。党幹部と共に繁華街での街頭活動を繰り返し、無党派層への浸透に躍起だ。山本は内閣不支持層の1割強を取り込んだ。街頭では政権批判を繰り返し、他の野党支持層の切り崩しを狙う。松尾は立民支持層の3割弱を固めたが、知名度不足が課題だ。

## 【注目区に行く・東京】唯一の「6枠」34人乱立

読売新聞 2022/07/05 05:00

参院選最後の日曜日を迎えた3日昼前。休日を楽しむ観光客ら

でにぎわう東京・浅草の雷門前で、自民現職で再選を目指す朝日健太郎（46）が声を張り上げた。



「もっともっと、東京を世界から選んでもらう街にしたいんです」

朝日の演説中には、首相で党総裁の岸田文雄（64）が駆けつけた。身長1メートル73の岸田が、元ビーチバレー五輪代表で1メートル99の朝日と並ぶと、その長身がさらに際立った。岸田は「日本最大の激戦区・東京で朝日さんを押し上げていただきたい」と呼びかけた。

岸田は1時間前、自民が擁立した新人の生稲晃子（54）の応援で、約10キロ・メートル離れた渋谷駅のハチ公前広場でもマイクを握った。

3年前に2議席を得た自民は、今回も「2人当選」が目標だ。朝日は、6年前に当時官房長官だった前首相の菅義偉（73）の後押しで初当選し、菅内閣では国土交通政務官を務めた。菅は公示日に応援に入り、「何としても当選させてほしい」と支援を求めた。

一方の生稲は、人気アイドルグループ「おニャン子クラブ」のメンバーだった。元首相の安倍晋三（67）が率いる安倍派に所属する現職の引退を受け、安倍に近い参院幹事長の世耕弘成（59）が擁立を主導し、同派が全面支援する。安倍も公示日に応援演説を行い、「がんが苦しみながら子育てし、仕事と両立してきた」と生稲を売り込んだ。選挙結果は、菅と安倍の今後の求心力に関わるとも目される。

自民は、都議のうち19人が朝日、13人が生稲の陣営に分かれ、友好団体が持つ票の配分を調整する。2007年参院選では、劣勢と判断した新人へのテコ入れを強化して当選させ、逆に現職が約3万票差の次点で涙をのんだ。「2人当選には、細心の票割りが必要だ」。15年前の教訓を胸に刻む党幹部は、両陣営のバランスに腐心する。

約1150万人の有権者を抱える東京選挙区は、比例票の上積みも狙い、多くの政党が候補を立てる。無党派層が多く、その時々「風」の影響を受けやすいため、各党の勢いを示すバロメーターとなる。

野党第1党の立憲民主党は前身の民進党が6年前に得た2議席の維持に向けて、蓮舫（54）と新人の松尾明弘（47）を擁立した。過去2回連続でトップ当選した蓮舫は、選挙期間の大半を各地での応援に充てる。

課題は、松尾の知名度だ。弁護士の松尾は1年足らず衆院議員を務めた。蓮舫は、「松尾さんの認知度をとにかく高めたい」と語る。立民の都内25総支部のうち24総支部が松尾に付き、連合東京も支援する。

自民や立民など現有議席を持ち、組織力も兼ね備える政党が、議席獲得で有利なのは、浮動票の比重が大きい東京でも変わらない。固い組織票がある公明、共産両党も「首都の1議席」の死守が至上命令だ。

公明の竹谷とし子（52）は、「政治は何をやったかが問われる」と自公政権の成果を強調する。共産の山添拓（37）は、「今度の選挙は憲法がかかっている」と改憲反対などを訴える。

全国唯一の「6枠」を争うことから、強固な組織がない場合でも、高い知名度や勢いを武器に滑り込む余地は十分にある。

2日夕、中野区に都知事の池百合子（69）が姿を見せた。地域政党「都民ファーストの会」が国政進出に向けて設立した「ファーストの会」代表で、国民民主党が推薦する荒木千陽（40）の応援だった。シンボルカラーの緑色のリボンを帽子に巻いた小池は、「即戦力、突破力、人間力。三拍子そろおう」と荒木を紹介し、国政での活躍に太鼓判を押した。

小池は、秘書として長年自身に仕えた荒木を「相棒」と呼ぶ。都政では、都議会第1党の自民に配慮も示しつつ、5月の自民都連のパーティーでは、「私の家族の荒木も出ますので」と宣伝を忘れなかった。

昨夏の都議選では、小池が最終日に都民ファ候補の支援に入り、苦戦必至との見方をはね返し、善戦につなげた。自民内では、ほぼ連日荒木を応援する小池の動きを「国政再挑戦への布石」とみる向きもある。

れいわ新選組代表の山本太郎（47）も各党が警戒する存在だ。衆院議員を辞職し、公示の約1か月前に東京選挙区での出馬を表明した。無所属で初当選した13年参院選の再現を目指し、「この国を変える先頭に立たせてもらいたい」と主張する。小池と山本の動きが、混戦に一層拍車をかける。

東京での足場を強化したい日本維新の会は、大阪市議出身の海老沢由紀（48）を擁立した。6月28日、代表で大阪市長の松井一郎（58）が世田谷区で演説を始めようとする中、「大阪に帰れ！」とヤジが飛んだ。松井は「大阪に帰るわけにはいかない」と応戦し、「大阪の改革は全国で通用する」と声をからした。

朝日健太郎	後藤輝太郎	小畑康彦	斎藤文彦	竹中治	野中亮	猪野和子	山添拓	長谷川洋一	服部良平	荒木千陽	海老沢由紀	安藤裕	中山本	菅原太	菅原雪	セツタ	東京(改選定数6)
46	39	36	60	54	56	52	38	37	45	72	40	48	57	42	47	60	51
自現	諸新	諸新	諸新	諸新	諸新	諸新	公現	公現	公現	共現	社新	諸新	維新	諸新	諸新	諸新	⑥

推薦・支持	敬称略	中村高志	油井正	河野美緒	松田久樹	内藤美久	田村真智	中川洋	乙武晴	河野憲二	斎藤陽	齋藤明	松尾雅元	青生雅幸	及川幸洋	込山幸洋
62	78	41	35	65	34	64	46	74	30	54	47	54	60	62	48	
推	推	推	推	推	推	推	推	推	推	推	推	推	推	推	推	推

社民党やNHK党、作家の乙武洋匡（46）らも支持拡大を競う。

各党が威信をかけた首都決戦。34人の乱立は2000年代では、最多だ。終盤戦を迎え、各候補が大都會を駆け抜ける。（敬称略）（八角一紀、社会部 山田佳代）

### 参院選東京選挙区 任期満了迎える現職6氏の国会活動をチェックした

東京新聞 2022年6月20日 06時00分



東京選挙区 6年開票の区 主・改選 法の現職 6氏は？	小川 敏夫氏 (自民党)	中川 雅治氏 (自民党)	蓮 正剛氏 (公明党)	竹谷 とし子氏 (公明党)	朝日 健太郎氏 (自民党)	山添 拓氏 (共産党)
改正組織犯罪処罰法 (2017年6月15日)	×	○	×	○	○	×
働き方改革関連法 (2018年6月29日)	×	○	×	○	○	×
改正公職選挙法 (2018年7月11日)	▲	○	▲	○	○	×
カジノを含む IR整備法 (2018年7月20日)	×	○	×	○	○	×
改正新型コロナウイルス 感染症対策 (2020年3月13日)	▲	○	○	○	○	×

※○は賛成、×は反対、▲は棄権・欠席、6氏の順序は当選回数・党順に基づく。

参院選（6月22日公示、7月10日投開票）で、全国の選挙区で有権者数、改選数ともに最も多く、首都決戦として注目を集める東京選挙区（改選数6）。今期限りで引退する意向を明らかにしている人などを含めて現職6氏が、選挙後の7月25日に任期満了を迎える。6氏の任期中の活動を、重要法案の採決時の賛否や、国会の「花形」とされる予算委員会での発言などをもとに振り返る。（横山大輔）

まもなく任期満了を迎える6氏は、当選回数順に▽小川敏夫氏（立憲民主党、当選4回）▽中川雅治氏（自民党、当選3回）▽蓮舫氏（立憲民主党、当選3回）▽竹谷とし子氏（公明党、当選2回）▽朝日健太郎氏（自民党、当選1回）▽山添拓氏（共産党、当選1回）。このうち、小川氏と中川氏は今期限りで引退を表明しており、今回の参院選には立候補しない。

◆チェックの方法は？ 法案採決時の賛否、質疑での発言、議員立法…

国会議員の仕事は幅広く、政府や国会の外でもさまざまな活動をしている。政策課題の現場や当事者からの情報収集、所属する党内の仕事などで多忙にしている議員は多い。そうした中でも、やはり議員の資格がなければできない国会内での仕事は重要だ。

国会内では、議員たちは本会議や委員会に出席し、質問をしたり、採決で賛否を表明したりする。与党の議員なら、大臣や副大臣、政務官など政府の役職に就くこともあり、その場合は政府を代表して質問に答える側に回る。時には法案を自ら考えて議院に提出し、成立を目指す「議員立法」も行う。

議員の活動をすべてチェックするのは難しいが、こうした国会内での仕事はすべて後世に記録が残る。こうした記録を通して、議員の仕事ぶりの一端を確かめることは可能だ。

今回は、任期中に世論の関心を集めた主な法案の採決時に6氏がどのような投票行動をとったのかをまず紹介する。その後一人一人について、予算委員会での発言や、務めた役職、議員立法の提案数、質問主意書の提出数をまとめる。議員立法の提案数は国立国会図書館の「日本法令索引」に基づいて、質問主意書は参議院が公開しているデータに基づいて、それぞれ昨秋の臨時国会までの件数を示した。

質問主意書 国会議員が国政のさまざまな問題を内閣に問いただす文書。政府は原則7日以内に回答する義務があり、政府の統一見解として「答弁書」を閣議決定する。国会開会中ならいつでも提出することができ、特に野党議員にとっては委員会などでの限られた質問機会を補う重要な手段になっている。

◆6氏の重要法案の賛否は…

この6年間で社会の関心を集めた主な法案5件の本会議採決における、6氏の投票行動を振り返る。

### 【改正組織犯罪処罰法】

	小川 敏夫氏 (自民党)	中川 雅治氏 (自民党)	蓮 正剛氏 (公明党)	竹谷 とし子氏 (公明党)	朝日 健太郎氏 (自民党)	山添 拓氏 (共産党)
改正組織犯罪処罰法 (2017年6月15日)	×	○	×	○	○	×

※○は賛成、×は反対、▲は棄権・欠席、6氏の順序は当選回数・党順に基づく。

改正組織犯罪処罰法は、「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ「テロ等準備罪」を新設するのが柱。政府、与党は「テロ対策で国際社会と連携するために法整備が不可欠だ」と主張した。これに対する反対論として「犯罪と無縁の国民が、警察のさじ加減一つでプライバシーをひそかに侵害され、なぜ調査対象になったかも分らず傷つけられる重大な危険がある」などがあつた。

### 【働き方改革関連法】

	小川 敏夫氏 (自民党)	中川 雅治氏 (自民党)	蓮 正剛氏 (公明党)	竹谷 とし子氏 (公明党)	朝日 健太郎氏 (自民党)	山添 拓氏 (共産党)
働き方改革関連法 (2018年6月29日)	×	○	×	○	○	×

※○は賛成、×は反対、▲は棄権・欠席、6氏の順序は当選回数・党順に基づく。

働き方改革関連法は、▽高収入の一部専門職を労働時間規制の対象から外す「高度プロフェッショナル制度（高プロ、残業代ゼロ制度）」の新設▽残業時間の罰則付きの上限規制▽正社員と非正規労働者の不合理な待遇差をなくす「同一労働同一賃金」が主な内容。高プロについては「長時間労働や過労死を助長する」との懸念が強かった。国会審議の前に、政府が法案作成に活用した裁量労働制に関する厚生労働省調査に不適切なデータ処理があつたことが発覚した。

### 【改正公職選挙法】

	小川 敏夫氏 (自民党)	中川 雅治氏 (自民党)	蓮 正剛氏 (公明党)	竹谷 とし子氏 (公明党)	朝日 健太郎氏 (自民党)	山添 拓氏 (共産党)
改正公職選挙法 (2018年7月11日)	▲	○	▲	○	○	×

※○は賛成、×は反対、▲は棄権・欠席、6氏の順序は当選回数・党順に基づく。

改正公職選挙法は、▽参院の定数を242から248に6増▽参院比例代表で政党ごとに優先的に当選する候補者を指定できる「特定枠」の導入が柱。いずれも自民党が提案したもので、特定枠は「1票の不平等」を是正するため2016年参院選から導入された「鳥取・島根」「徳島・高知」での合区で、選挙区から立候補できなくなった候補者らを比例代表で優遇して救済する狙いがあった。さらに、特定枠を設けることで当選できなくなる比例代表候補を救済するための定数増もセットにした。これに対して「選挙制度の私物化」との批判が噴出した。

### 【カジノを含むIR整備法】

	小川 敏夫氏 (自民党)	中川 雅治氏 (自民党)	蓮 正剛氏 (公明党)	竹谷 とし子氏 (公明党)	朝日 健太郎氏 (自民党)	山添 拓氏 (共産党)
カジノを含むIR整備法 (2018年7月20日)	×	○	×	○	○	×

※○は賛成、×は反対、▲は棄権・欠席、6氏の順序は当選回数・党順に基づく。

カジノを含む統合型リゾート施設（IR）整備法は、ギャンブルの場であるカジノの設置を解禁するもの。自民党などが議員立法して2016年に成立したIR「推進法」を、政府がさらに具体化した法律と言える。安倍晋三首相（当時）は「観光や地域振

興、雇用創出などの大きな効果が見込まれる」と経済活性化策の目玉に位置づけたが、経済効果を具体的な数値で示すことはできなかった。反対する議員からは、民営賭博を合法化することや、膨大な規制の詳細を法律ではなく国会の議決を必要としない政省令に委任していることなどに強い懸念が示された。一方、16年のIR推進法の採決では、公明党が党として賛否を決めずに自主投票としたが、竹谷氏は賛成に回った。このほか中川氏、朝日氏は賛成し、小川氏、蓮舫氏、山添氏は反対していた。カジノを巡っては、推進法を提案した自民党や日本維新の会の衆院議員がパチンコ企業やスロットマシン製造企業から資金を受け取っていたことが明らかにもなった。

【改正新型コロナウイルス特措法】

	小川 (立民氏)	中川 (自民氏)	蓮 (立民氏)	竹谷 (公明氏)	朝日 (自民氏)	山添 (自民氏)
改正新型コロナウイルス特措法 (2020年3月13日)	▲	○	○	○	○	×

○は賛成、×は反対、▲は棄権・欠席、○の順時は当選回数・党勢に基づく。

改正新型コロナウイルス特措法は、既存の新型インフルエンザ等対策特措法を改正したもので、適用対象に新型コロナを加え、政府が私権制限を伴う緊急事態宣言を発令できるようにすることが主な内容。「現行法でも対応が可能」として法改正は必要ないとの声もあったが、感染拡大の危機にある中で、多くの野党が成立に協力した。緊急事態宣言の要件が不明確で、集会や報道の自由が脅かされる懸念も出た。

◆小川敏夫氏（立民）



小川敏夫氏=2018年

検察官の経験もある小川敏夫氏。学校法人への国有地払い下げを巡る安倍晋三首相（当時）の関与が焦点となった森友学園問題に関し、2017年2月28日の参院予算委員会で安倍氏に学校法人理事長（当時）との関係を追及した。理事長と面会したかどうかについて、「1対1とか、そういう少人数でお目にかかったということはありません」とはっきり否定しない安倍氏に対し、小川氏は「少人数でもないんですか」「5人や10人ではどうですか」と重ねて質問。結局、安倍氏は「私は個人的な関係というのは全くないと言ってもいいと思います」と言い換えた。

同年3月13日の委員会で森友学園問題を取り上げた際には、小川氏が端的に質問を続けたために、安倍氏から「そんな尋問調に、私を犯罪者扱いで尋問調に聞くのはやめていただきたいと思えますよ」と言い返される場面もあった。

18年5月14日の委員会では、獣医学部新設を巡る加計学園問題に関し、安倍氏を追及。「国家の行政は、客観的であり、公正であり、透明でなくてはならない。しかし、大きく安倍政権によって揺らいでおります」と警鐘を鳴らした。

3年前の参院選後の2019年8月に参院副議長に就任したため、その後は委員会で質問に立っていない。今回の任期で昨年

秋の臨時国会までに、1件の議員立法の提案者になり、質問主意書の提出はなかった。

◆中川雅治氏（自民）



中川雅治氏=2017年

第2次安倍政権下の2016年の参院選で3選を果たした中川雅治氏は、翌17年8月の内閣改造で環境相・原子力防災担当相として初入閣。もともと大蔵省（現・財務省）の官僚出身で、04年の参院選で初当選する前年までは環境省で事務方トップの次官を務めていた。17年10月の衆院選後の内閣改造でも留任し、18年10月まで務めた。

予算委員会には、環境相や原子力防災担当相として答弁に立った。18年1月31日の参院予算委員会では、温室効果ガスの排出量を50年に80%削減するとした当時の政府目標について問われ、「従来の取組の延長では実現が困難であるというふうに考えます。したがって、革新的技術の開発普及など、イノベーションによる実現を最大限に追求してまいりたいと思います」と答えた。

16年11月16日の参院憲法審査会では会派を代表して意見表明を行い、衆参両院で改憲勢力が3分の2を超えていることを踏まえ「国民は、今のままの憲法では自分自身や自分の家族、地域や国家を十分に守ることができないのではないかと考え始めているのではないのでしょうか。このような国民の民意に応えることこそ、国会議員の責務と考えます」と述べた。

任期中には参院の憲法審査会長、決算委員長、行政監視委員長を歴任した。今回の任期で昨年秋の臨時国会までに、1件の議員立法の提案者になり、質問主意書の提出はなかった。

◆蓮舫氏（立民）



蓮舫氏=2017年

蓮舫氏は2016年の参院選で3回目の当選を果たした後の同年9月、民進党代表に就任。17年7月に東京都議選の敗北や党の支持率低迷を受けて辞任するまで、野党第1党の党首として安倍晋三首相（当時）との論戦の先頭に立った。

16年12月8日には党首討論を行い、審議中だった「統合型リゾート施設（IR）」整備推進法案（カジノ解禁法案）を巡り、政権がIRを成長戦略と位置づけていることを疑問視。「カジノはなぜ問題なのか。それは、負けた人の賭け金が収益だからです。依存症に陥って借金までして、それでも勝てなくて負けた金が、それが収益であり利益になる。つまり、サービス業や物づくり産業のような新たな付加価値は全く生み出しません」と見直しを求めた。安倍氏は「（IRへの）投資があり、そしてそれは雇用にもつながっていくのは事実であります」と答えた。

19年10月15日の参院予算委員会では、政府と民間がお金



を出し合って企業に投資する「官民ファンド」が出した損失に切り込んだ。安倍氏は「全体として見れば5800億円の利益を上げている」と反論したが、その後、12年の第2次安倍政権発足後にできた10ファンドに限れば、合計で計323億円の赤字（18年度末）だったことが判明した。

蓮舫氏は、今回の任期で昨年秋の臨時国会までに、議員立法の提案者になっておらず、質問主意書は11件提出した。

#### ◆竹谷とし子氏（公明）



竹谷とし子氏＝2016年

竹谷とし子氏は、2016年の参院選で2回目の当選を果たし、同年10月13日に参院予算委員会で質問。産前産後ケアや子どもの貧困、食品ロスの問題など幅広いテーマを取り上げた。最後に麻生太郎財務相（当時）に「東京都の青ヶ島、御蔵島、行ったことありますか」と切り出し、離島などで特産品として酒類を小規模でも醸造できるようにする規制緩和を求めた。

17年3月27日の委員会では、公認会計士でもある竹谷氏らしく、財政の透明化に関し質問。「私は一貫して、財政の見える化、民間企業が行っているように複式簿記、発生主義会計の考え方で行政サービスの原価計算をして見直し、無駄をなくしていくことを提案してまいりました」とした上で、刑務所の受刑者1人1日当たりの経費が1万2820円だと具体例を示し、個別事業の全面的なコスト開示の必要性を指摘した。

22年3月2日の委員会では、「小児がん患児などが子どもらしい生活や経験をするための支援は乏しく、福祉、教育の制度のはざまにすぼりと落ちている」と話し、生命を脅かす病気を患う子どもとその家族を支える「子どもホスピス」への支援を岸田文雄首相に求めた。

竹谷氏は任期中、参院法務委員長、総務委員長も務めた。昨年秋の臨時国会までに、1件の議員立法の提案者になり、質問主意書の提出はなかった。

#### ◆朝日健太郎氏（自民）



朝日健太郎氏＝2019年

2016年7月に初当選した朝日健太郎氏は、翌17年3月7日に参院予算委員会に初めて登場。丸川珠代五輪相（当時）に対して2020年東京五輪の成功に向けた意気込みをたずねたのが、最初の質問だった。朝日氏はバレーボール男子の元全日本メンバーで、ビーチバレーに転向後に08年北京、12年ロンドンと五輪2大会に出場した。質問では、「私自身の背景には、スポーツ、そしてオリンピックが色濃くあります」と切り出すと、五輪の準備状況からスポーツ振興に話を広げ「健康長寿社会の実現を目指すべく、スポーツを通じた健康増進に積極的に取り組んでいくべきだ」などと訴えた。

22年2月25日の委員会では、前日にロシアがウクライナに侵攻したことを受け、岸田文雄首相に日本政府の対応を質問。

「我々国民は決してこの事象が対岸の火事ではないというような緊張感に包まれている」と指摘し、「国際社会の一員として、日本が平和構築に向けたその責任を果たしていただきたい」と話した。子育て支援についても取り上げ、男性の育児休業取得率が13%弱という数字を紹介して「まだまだ低い」と評価し、政府に支援の充実を求めた。

菅義偉内閣の20年9月から21年10月まで、国土交通政務官を務めた。

今回の任期で昨年秋の臨時国会までに、議員立法の提案者になっておらず、質問主意書の提出もなかった。

#### ◆山添拓氏（共産）



山添拓氏＝2019年

弁護士でもある山添拓氏は、政府が進めた「働き方改革」や、検察官の定年を政府の判断で延長できるようにする検察庁法改正案など、与野党の対立が激しいテーマを数多く参院予算委員会で取り上げた。

20年1月30日の委員会では、安倍政権下で私物化が指摘された「桜を見る会」を巡り、安倍晋三首相（当時）に直接たずねた。安倍氏が自身の事務所に招待者のリストは「残っていない」として開示や調査を拒んだのに対し、「前の年と（招待者が）重複しないようにとか、こういう注意をされていたんですか」などとリストがなければ難しい事情を指摘し、答弁の不可解な点をあぶり出した。

同年3月25日の委員会では、東京都心を低空で飛ぶ羽田空港の新飛行ルートへの運用開始を巡り、騒音が想定より上回る地点があることや、落下物や航空機の降下角度の問題を指摘し、中止を求めた。部品欠落の報告が増えていたことについて、国土交通省幹部が「その数が増えること自体は問題があるとは思っていない」と述べた際、山添氏は「驚きの答弁ですよ。国交省は落下物ゼロにしようと言っていたんですよ」と不用意な発言を見逃さず追及した。

昨年秋の臨時国会までに、4件の議員立法の提案者になり、質問主意書は6件提出した。今年の通常国会では、企業・団体による政治献金を全面禁止する政治資金規正法改正案などの議員立法を提案した。

### 2022 参院選 激戦区ルポ 【東京】 迫力欠く小池・スベる吉村・踊る太郎…「三つ巴の戦い」最後のイスは誰？

日刊ゲンダイ公開日：2022/07/05 06:00 更新日：2022/07/05 09:23

東京（改選数6）



ファーストの会・荒木千陽候補の応援に駆け付けるも、小池百合子都知事はお疲れ気味？（C）日刊ゲンダイ

○当選圏内、△拮抗でやや優勢、▲拮抗でやや劣勢。左印は政治評論家・野上忠興氏、右印は政治ジャーナリスト・泉宏氏の予想。

【写真】この記事の関連写真を見る（22枚）

◇ ◇ ◇

最後の1枠を制するのは誰か。大手メディアの情勢調査によると、6議席を争う東京選挙区は、自民・朝日、生稲、公明・竹谷、立憲・蓮舫、共産・山添の5人が当選圏内。残る1議席をめぐる、維新・海老沢、れいわ・山本、「ファーストの会」の荒木が三つ巴の戦いを繰り広げている。

3人の中でも苦戦しているのが、小池都知事の「相棒」の荒木だ。陣営が「唯一の弱点」と認める知名度の低さを補うため、小池が連日、応援演説のマイクを握っている。娘のような存在の荒木を何が何でも当選させたいという「親心」からか、小池も必死だが、持ち前の神通力は発揮できていない。

ラストサンデーの3日、JR秋葉原駅前で行われた荒木の街頭演説に小池も登場。集まった約200人の聴衆に、「ファーストの会」と連携を組む国民民主党の玉木代表と共に支援を呼び掛けたが、聴衆の拍手はパラパラ。演台の選挙カー近くに控えていた陣営スタッフが「ウケが良くないなあ……」と思わずボヤいてしまうほど、盛り上がりには欠けていた。

演説終了後、小池は選挙カーから降りると、挨拶もそこそこに車へ。荒木と玉木は聴衆との記念撮影に応じていたが、小池はお疲れ気味なのか、塩対応でその場を後にした。

一方、勢いづいているのが維新の副代表を務める吉村大阪府知事だ。小池がアキバでマイクを握った日の前日、吉村も秋葉原駅前に海老沢の応援弁士として登場。教育無償化の実績をアピールし、「次世代への投資が自民党との対立軸」と強調した。立憲をクサして「国会でプラカード掲げて、あんなンドリフ大爆笑。茶番劇です」などとコキ下ろしたが、ほとんど笑いは起きず、ややスベリ気味だった。

海老沢陣営は「吉村さんが秋葉原で演説したのは初めてじゃないか。その割には、結構人が集まったと思う」と手ごたえを感じた様子。「(海老沢は) 追い上げている」と意気軒高だった。れいわ「常套」のイベント型演説会に400人の聴衆



イベント型演説会「盆ダンスパーティー」でポ

ルテージ大(れいわの山本太郎候補) / (C) 日刊ゲンダイ

れいわの山本は2日、JR池袋駅前で「景気爆上げ 盆ダンスパーティー」を開催。歌や踊りで盛り上げるイベント型演説会は、れいわの常套手段だ。ザッと400人の聴衆が詰めかけた。

埼玉県から出馬している西美友加候補や比例候補者の演説と、盆踊りが交互に繰り返される中、駅前広場の踊りの輪は徐々に拡大。20人程度だった輪は、最終的に40~50人まで膨れ上がった。場の熱気や盛り上がり具合で言えば、小池や吉村が駆け付けた演説をはるかに上回っていた。

パーティー開始から約1時間後、山本が満を持してマイクを握ると、盆踊りで高まっていた400人の聴衆のボルテージは最

高潮に。「消費税止めたら毎日が10%オフなんですよ」と訴える山本の演説に拍手が起り、「そうだ!」の声が飛んだ。

「盆ダンスパーティー」終了後、山本と記念写真を撮ろうと50~60メートルに及ぶ長蛇の列ができた。未就学児を連れた夫婦は「池袋に買い物に来たら、たまたま(パーティーに) 遭遇して一緒に写真を撮ってもらいました」「山本太郎、良いんじゃないですか」と、好印象を抱いた様子だった。

知名度に劣る海老沢と荒木が、知事の威光を借りて票を伸ばすのか。知名度に勝る山本が突き放すのか。

(取材・文=高月太樹/日刊ゲンダイ)

## 参議院選挙 神奈川選挙区の中盤情勢

読売新聞 2022/07/05 07:05

三原盤石 浅尾、松沢が追う

三原が抜け出し、浅尾、松沢が追いかける展開。残り2議席を三浦、浅賀、水野、寺崎が激しく競り合っている。三原は菅前首相の支援も受け、自民支持層の約4割を固めた。元女優としての高い知名度を生かし、幅広い年齢層から安定した支持を集める。

「非自民」で長年活動してきた浅尾は、業界団体や企業を勢力的に回り、組織固めを進める。自民支持層の約3割に浸透し、内閣支持層の約2割の支持を得る。松沢は維新支持層の約7割をまとめた。県知事を務めた実績をアピールし、無党派層から1割強の支持を集める。

三浦は公明支持層を9割強までまとめた。防衛大准教授を務めた経歴をアピールし、保守層の取り込みも狙う。16、19年の参院選では「次点」で涙をのんだ浅賀は、共産支持層の8割強を固めた。水野は自治労、日教組などの支援を受けて立民支持層の約4割に浸透した。寺崎は立民支持層の支持が約3割にとどまり、後れを取っている。

## 参議院選挙 新潟選挙区の中盤情勢

読売新聞 2022/07/05 07:10

小林・森 一步も譲らず

小林と森が一步も譲らぬ展開となっている。2016、19年の参院選で失った自民の議席奪還を目指す小林は、県選出国會議員や県議らと県内各地を行脚し、徹底した組織戦を繰り広げる。自民支持層の約8割、公明支持層の7割強を固めた。約2割にとどまる無党派層への浸透が課題だ。

森は連合新潟と合同選対本部を設け、野党支持層の着実な取り込みを図っている。立民支持層の9割強を固め、共産支持層の8割弱に浸透した。岸田内閣の物価高対策を批判し、内閣不支持層から約6割、無党派層から約4割の支持を集めた。

## 「参院選に関心」84% 世論調査

読売新聞 2022/07/06 05:00

「景気や物価高」重視40%

読売新聞社が1~3日に実施した全国世論調査で、参院選(10日投開票)に「関心がある」と回答した県内の有権者は84%、「投票に必ず行く」と回答した人は77%に上った。新潟選挙区(改選定数1)では自民党と立憲民主党の候補が激しいつばぜりあいを繰り広げ、ウクライナ危機や物価高騰など社会情勢の不安

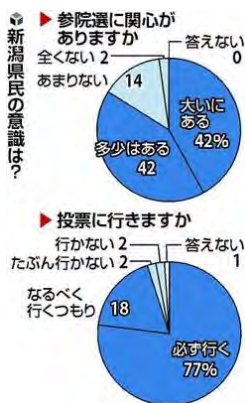


定化も相まって、参院選への関心が高まっているとみられる。



参院選に関心があると答えた人は「大いにある」「多少はある」がそれぞれ42%で、合わせると84%だった。調査方法が異なるため、単純には比較できないが、2019年の前回選の調査では、関心があるは69%だった。今回、無党派層で関心があると答えた人は71%に上った。

年代別では、関心があるとした人は60歳代が88%と最も多く、30歳代、70歳以上、50歳代、40歳代が8割台で続いた。18～29歳は約6割にとどまった。



投票に「必ず行く」とした77%と、「なるべく行くつもり」とした18%を合わせ、投票に行く意向を示した人は95%に上った。調査方法が異なるものの、前回選では91%（必ず行く64%、なるべく行く27%）が投票に行く意向を示し、実際の投票率は55.31%だった。

岸田内閣を「支持する」と答えた人は54%で、「支持しない」の31%を上回った。職業別では農林水産業や商工自営・自由業の支持がそれぞれ約6割、年代別では70歳以上で約6割と高かった。一方、18～29歳と30歳代では「支持しない」が「支持する」を上回った。

支持する政党は、自民が43%で最多。次いで立民が15%、

日本維新の会と公明党がそれぞれ4%、共産党が3%、国民民主党と社民党がいずれも2%で続いた。無党派層は18%だった。

投票する候補者や政党を決めるときに最も重視する政策を7項目から一つ選んでもらったところ、「景気や物価高対策」を挙げた人が40%と、他を大きく引き離してトップだった。30歳代と40歳代で半数を超え、職業別では給与所得者と商工自営・自由業で4割台後半に達した。

ほかに「年金など社会保障」が21%、「外交や安全保障」が12%、「教育や子育て支援」と「原発などエネルギー政策」がいずれも7%で続いた。「新型コロナウイルス対策」は2%だった。

### 参議院選挙 長野選挙区の中盤情勢

読売新聞 2022/07/05 07:35

杉尾・松山 予断許さず

杉尾と松山が、予断を許さない展開となっている。杉尾は立憲支持層の約9割を固め、支援を受ける共産支持層の約8割をまとめた。特に50歳以上で支持が高い。非自民の受け皿として長野市や松本市など都市部での支持拡大を急ぐ。内閣不支持層への浸透は約6割で、政権批判票のさらなる取り込みを目指す。

松山は、地元で20年以上活動してきたタレントとしての知名度を生かす。県選出国會議員と、県議団がフル稼働しており、自民支持層の7割超を押さえた。無党派層の支持は杉尾に後れをとっている。

### 野党系の「牙城」新潟、共闘にほころび 自民にくすぶる「裏金問題」

毎日新聞 2022/7/5 18:00 (最終更新 7/5 19:03)



街頭演説に耳を傾ける有権者ら＝新潟

新潟市中央区で2022年7月4日午後2時50分、内田帆ノ佳撮影  
参院選の改選議席が1人に減った2016年以降、2度の選挙で無所属の野党統一候補が自民党現職に連勝した新潟選挙区。野党の候補者一本化が全国で11選挙区にとどまる中、今回も立憲民主党、共産党、社民党や連合新潟による選挙協力が実現した。だが、今回は5月の新潟県知事選で野党候補が大敗した余波で「共闘」にほころびも見え、野党系の「牙城」でも防戦に追われている。

新潟選挙区には今回、4人が立候補し、4選を目指す立憲現職の森裕子氏＝社民推薦＝と、元新潟県議で自民新人の小林一大氏＝公明党推薦＝が事実上の一騎打ちを展開している。

公示日、新潟市内の森氏の第一声会場では、選挙カーを挟み、向かって右側に立憲と連合新潟、左側に共産、社民の関係者が並んだ。「横一列ではなく『コの字』。いろいろな解釈ができるように」。立憲県連幹部は、この「陣形」が陣営内の微妙な関係性を反映していると説明した。



背景には、知事選で表面化した連合新潟と共産の確執がある。知事選で、連合新潟は自民、公明、国民民主党などと共に現職候補を支援。立憲は自主投票としたが、森氏は共産、社民などが支援する対立候補にびたりと張り付き、連合からは「森氏は共産に近すぎる」などの不満が出た。



連合新潟の事務所を訪れる小沢一郎氏＝新潟市中央区で2022年6月28日午後0時51分、内田帆ノ佳撮影

参院選に向け、立憲は連合新潟と「合同選対」をつくるなど関係を再構築し、共産への推薦要請を見送る配慮も見せた。冷遇された共産の県委員会幹部は「わだかまり？ そりゃある。それにしても『強気の森裕子』が地元でこれほど、気を使うとは……」と話す。

6月28日には、森氏が「政治の師」と仰ぐ、立憲の小沢一郎衆院議員が連合新潟の牧野茂夫会長を訪ね、「もう一段の力添えを」と森氏への支援を要請した。連合の芳野友子会長も選挙戦終盤に新潟入りする見通しだ。

一方、議席奪還を目指す自民は、新潟県議4期目の小林氏を擁立し、約1年かけて準備を進めてきた。小林氏について県連幹部は「エースを投入した」と強調し、党県議団がフル稼働で支える。知名度向上が課題とされるが、公明県本部幹部は「フレッシュで好感度もある」と期待感を示す。

党本部も新潟選挙区を「最重点区」の一つに据える。4日には岸田文雄首相が新潟入りし、街頭で「全国から注目される大激戦区。ぎりぎりの戦いがずっと続く。最後の最後まで頑張り通した方が勝つ」と激励した。



街頭演説をする岸田文雄首相＝新潟市中央区で2022年7月4日午後2時56分、内田帆ノ佳撮影

他にも麻生太郎副総裁、菅義偉前首相、茂木敏充幹事長、安倍晋三首相、二階俊博元幹事長など大物が相次いで新潟入りした。小林氏陣営には、新潟県内に所属国会議員のいない岸田派のスタッフが常駐。自民県議は「派閥として小林氏を取り込みにかかっているのだろう」と話し、選挙後を見据えた派閥間の駆け引きが始まっているとみる。

小林氏陣営が懸念するのは、新潟市に次ぐ大票田、長岡市の状況だ。

昨年の衆院選で同市を含む新潟5区は自民の泉田裕彦氏が野党系候補に敗れ、比例代表で復活した。泉田氏はその後、衆院選を巡り地元県議から裏金を要求されたと公表。疑惑のかかった重鎮県議が自民を離党した一方で、泉田氏も党本部から新潟5区選挙区支部長への選任を保留され、火種はくすぶり続けている。

自民党関係者は「長年築いてきた支持が（裏金問題で）流れ出

てしまった。実は傷が深い」と危惧する。【池田真由香、内田帆ノ佳】

## <独自>首相、参院選「最後の訴え」新潟県内で調整

産経新聞 2022/7/5 20:09

岸田文雄首相（自民党総裁）が参院選（10日投開票）の遊説を締めくくる9日の「最後の訴え」を、新潟県内で調整していることが分かった。5日、首相周辺が明らかにした。歴代首相は都府でマイク納めに臨むのが恒例で、選挙戦最終日の最後の演説を地方で行うのは異例だ。

首相は新潟の前に、山梨、長野両県にも入る方向で検討しているが、今後の情勢次第では変更する可能性もある。

安倍晋三首相は毎回の国政選挙の「最後の訴え」に東京・秋葉原を選んできた。岸田首相も昨秋の衆院選では、東京都品川区のJR大井町駅前演説に臨んだ。だが、今回の参院選では首相は勝敗のカギを握るとされる「1人区」の動向を重視。とりわけ、新潟など3県の選挙区はいずれも自民候補と立憲民主党の候補が激しく競り合っており、最終盤で首相自ら応援に入ること接戦を制したい考えた。

## 参議院選挙 愛知選挙区の中盤情勢

読売新聞 2022/07/05 07:50

藤川優位 5氏追い上げ

藤川が優位に戦いを進め、斎藤嘉、里見、広沢、伊藤孝、須山が追い上げる展開だ。2016年参院選でトップ当選を果たした藤川は、支援を受ける企業や団体を精力的に回って組織票を固める。自民支持層の約7割を押さえた。

連合愛知の組織内候補の斎藤は、傘下労組の大半から支援を受け、立民支持層の7割以上を固めた。岸田内閣への批判を強め、無党派層の取り込みにも力点を置く。

里見は、連立与党としての実績を前面に掲げ、自民との「与党で2議席」をアピールする。公明の山口代表ら幹部も県内入りし、支持母体の創価学会も精力的に動いている。

広沢は、名古屋市内で厚い支持層を持つ地域政党・減税日本代表の河村たかし名古屋市長とともに選挙戦を展開する。同市以外での知名度不足が課題だ。

全トヨタ労働組合連合会の支援を受ける伊藤は、現職としての実績を強調し、国民支持層の約8割を固めた。

須山は共産支持層の約8割の支持を集めた。

## 愛知選挙区 藤川氏リードの展開 情勢調査 5氏、激しく競る

読売新聞 2022/07/05 05:00

読売新聞社は1～3日、全国一斉に実施した参院選に関する世論調査結果に取材を加味し、選挙戦の情勢を探った。愛知選挙区（改選定数4）では、自民党の藤川政人氏がリードし、立憲民主党の斎藤嘉隆氏、公明党の里見隆治氏、日本維新の会の広沢一郎氏、国民民主党の伊藤孝恵氏、共産党の須山初美氏が激しく競り合っている。ただ、一定数の人が投票先を答えておらず、情勢は流動的だ。

藤川氏は、自民支持層の7割近くを固めた。70歳代以上で3

割強、50歳代と30歳未満で3割弱と、各年代からまんべんなく支持を集める。

斎藤嘉氏は、立民支持層の7割強を固めた。共産、社民支持層の1割を取り込むほか、無党派層からの支持も厚い。

里見氏は、公明支持層の9割強をまとめたが、推薦を受ける自民支持層からの支持は1割に満たない。

地域政党・減税日本との「ダブル公認」で臨む広沢氏は、維新支持層の7割をまとめ、無党派層の1割から支持を受ける。

伊藤孝氏は、国民支持層の8割を固めるほか、無党派層の1割から支持を得る。須山氏は、共産支持層の8割をまとめるが、無党派層は取り込めていない。

一方、比例選の投票先では、自民が3割で最も多く、立民と維新が1割強、国民、公明、共産はいずれも1割を下回った。無党派層の3割は投票先を明らかにしていない。

自民は、支持層の7割以上をまとめて、無党派層の1割強に浸透。全ての年代で他党を上回り、リードを保っている。

立民は支持層の8割強を固めた。公明は支持層の9割以上をまとめたが、無党派層からの支持は伸び悩んでいる。維新は支持層の8割以上をまとめ、無党派層からの支持が厚い。国民は支持層の8割以上、共産は支持層の9割弱を固めた。

## 参議院選挙 京都選挙区の中盤情勢

読売新聞 2022/07/05 08:05

吉井、福山、楠井が横一線

吉井、福山、楠井が横一線で並び、予断を許さない展開となっている。吉井は、京都市議時代の実績を訴え、自民支持層の7割弱を固めた。今回は自民として、15年ぶりの新人候補の擁立となった。公明を含めた支持層への浸透を目指す。

立民の幹事長を務めた福山は、立民支持層の9割超を固めている。メディア出演などで知名度が高く、無党派層の3割弱にも食い込んでいる。選挙戦では、維新への批判を強めている。

楠井は、吉村洋文・党副代表や、前原誠司・国民代表代行の支援を受けて、攻勢をかける。維新支持層からは約7割の支持を得た。無党派層への支持拡大が勝敗のカギを握りそうだ。

## 【注目区に行く・京都】自民・立民・維新、複雑な三角関係

読売新聞 2022/07/04 05:00

街なかに観光客の姿が戻りつつある京都で、ひときわ大きなポスターが有権者の目を引いている。

<京都のことは 京都で決めよう。>

青地に白字の「立憲民主党カラー」で大書されたポスターは参院選公示の直前、立民京都府連がA1判とA2判の計4000枚を作成した。意識した相手が、京都選挙区に9年ぶりに候補を擁立した大阪発祥の日本維新の会であることは明白だった。



「今、大阪の政党の人が京都に来て『大阪の改革を京都へ』っ

て言いますよ。京都のこと、ほっといてくれ。もう、いらん！」

立民現職の福山哲郎(60)は6月24日夜、京都市内の公民館で拳を握って言い放った。福山が「京都のことは京都で決めようじゃないですか」とポスターの文言を反復すると、約100人の聴衆から「そうだ!」と声が飛び、5秒にわたって拍手が湧いた。陣営幹部は「大阪への対抗意識を喚起したい」と語る。

5選をかける福山は1998年の初当選以来、自民党や共産党と改選定数2を分け合ってきた。立民幹事長だった福山は、メディア出演などで知名度も高い。

「指定席」に待ったをかけたのは、4月に維新が擁立した新人の楠井祐子(54)だった。翌5月には国民民主党が楠井への推薦を正式決定し、構図は一変した。連合京都では、四つの民間産業別労働組合(産別)のうち、国民に近い3産別は福山への推薦も支持も見送り、自主投票となった。福山が維新に向ける敵対心は、危機感の裏返しでもある。

維新は、大阪に隣接する京都を「最重点区」に位置付け、代表の松井一郎(58)(大阪市長)や副代表の吉村洋文(47)(大阪府知事)を集中的に投入する。吉村は6月24日、「自民と立民の固定席だった京都は今の国会の構図そのもので、(勝利は)古い体質を変える象徴になる」と記者団に強調した。

衆院京都2区選出で、維新との連携を主導した国民代表代行の前原誠司(60)は6月26日夜の演説会で、推薦理由を「もう一度政権交代を実現したいという一点に尽きる。残念ながら、旧民主党の力だけで政権が取れる状況ではない」と説明した。

旧民主党時代、前原と福山は、一緒に政権交代を目指した同志だった。前原が演説で福山本人を批判することはない。「非自民・非共産」を信念とする前原はこの日の演説会で、「野党同士が食い合うのではなく、自民(の議席)をぜひ変えていく」とも語った。地元では、前原の行動が、福山との事実上の決別を意味すると受け取る向きもある。

前原は、自らの後援会幹部を楠井に紹介するほか、演説の指導役も買って出る。前原の後に壇上に立った楠井は、前原の名前を何度も出しながら「国を変えていきたい」と国政への意欲を見せた。

維新の挑戦は、参院京都選挙区での公明党の戦略にも影響を与える。公明は公認候補を擁立せず、自民新人の吉井章(55)を推薦した。公明が衆院で議席を持つ大阪や兵庫での小選挙区では従来、維新は擁立を見送ってきた。公明内には、「今後も競合を避けるため、参院選の京都で一部の票を維新に流して恩を売るべきではないか」との意見もある。

一方、立民とは本来、敵対関係にある自民陣営は、福山にエールを送る。

6月25日夜、京都市内の小学校で開かれた演説会では、自民の重鎮で元衆院議長の伊吹文明(84)が立民のポスターを褒めそやした。

「いいことを言っているなと思った。大阪の人は京都にちょっかいを出さんでもらいたいですな」

念頭には、昨年の衆院選での大阪の惨状がある。自民は候補を擁立した大阪府内15小選挙区で維新に全敗した。京都でも維新の進出が徐々に進む。昨年の衆院選では、京都1区で出馬した新人が比例選で復活当選し、4月の府議補選では維新が勝利した。

自民の府連幹部は「これ以上維新に侵食されると第二の大阪になってしまう」と警戒を強める。

この日の演説会では、自民府連会長の西田昌司（63）が「絶対に維新を伸長させない。敵は維新」と声を張り上げた。吉井は、京都市議を4期務めた実績を挙げて、「地域の声を聞いてきたのは私が一番」と力を込めた。

3年前の参院選で議席を得た共産党は、新人の武山彩子（51）を立てた。武山は「大激戦区の京都から勝ち抜かせてください」と訴える。

推薦・支持政党	（敬称略）	吉井	楠井	近江	安達	星野	橋本	平井	福山	武山	京都（改選数2）
は投票日現在、四角囲みは年齢	略	章	子彦	政彦	悠也	達也	久美	基之	哲郎	彩子	
		55	54	52	40	33	53	43	60	51	
		自新	維新	N	N	N	N	N	立現	共新	④

自民、立民、維新の複雑に絡んだ「三角関係」が、夏の京都を一層ヒートアップさせている。

### 2022 参院選 激戦区レポート 【京都】情勢一変で「カオス」状態… 3 陣営の“泥仕合”が激化

日刊ゲンダイ公開日：2022/07/06 06:00 更新日：2022/07/06 06:00

京都（改選数2）



険しい表情を浮かべる立憲民主の福山哲郎候補（C）日刊ゲンダイ

○当選圏内、△拮抗でやや優勢、▲拮抗でやや劣勢。左印は政治評論家・野上忠興氏、右印は政治ジャーナリスト・泉宏氏の予想。

◇ ◇ ◇

「どうか皆さん……福山哲郎を助けて下さい！」  
気温35度超えの猛暑日だった2日夕、京都タワー前で険しい表情を浮かべて福山が訴えていた。声はかれ、顔は日焼けして真っ黒。スーツに身を固め、額は汗でグッショリだ。

東京選挙区から出馬中の蓮舫参院議員、比例出馬の辻元前衆院議員、枝野前代表が応援に駆けつける中、約1000人の聴衆を沸かせたのは、福山の維新批判だ。維新の松井代表の「ぬるま湯の自民をピリッとさせる」という得意のフレーズを引き合いに出し、こう絶叫した。

「ピリッとさせるって、何やねんそれ！ ワケ分からんやろッ！ そんな生半可なこと言ってるから野党か与党か分からないんですよ！」

さらに、「大阪の改革を京都で」と訴える楠井陣営を念頭に「京都のことは京都で決めましょう！」と声を張り上げた。

改選数2の京都は、序盤こそ自民の元京都市議・吉井が優勢で、残る1議席を福山と楠井が争う構図だったが、中盤に情勢は

一変。楠井が支持を伸ばす一方、吉井が沈み始めた。3陣営が横一線となり、“泥仕合”が激化している。

「自民大慌て」「維新ケンカ腰」



オラつく吉村洋文大阪府知事が前に出すぎ（後方が、日本維新の会・楠井祐子候補）／（C）日刊ゲンダイ

福山の演説の約2時間前、同じ場所には岸田首相が吉井の応援に駆けつけた。“台本通り”の岸田演説はともかく、約1200人の聴衆をどよめかせたのは、急に「維新批判」を始めた参院議員の西田昌司府連会長だ。

「維新はさかんに大阪での改革を京都でも実現すると言っている。しかし、彼らがやったことの中身は人減らし。その結果、コロナ禍で死者が一番多かったのは大阪じゃないですか！ 京都を維新の手に渡していいんですか！？ なんで間違った改革を京都でやろうとするのか。断じて京都人として許すことができませんッ！」

そして、福山の決めゼリフをパクるかのよう「京都のことは京都で決めよう」と語気を強めると、聴衆から「その通りだ！」と声が上がった。陣営が維新批判を始めたのには理由がある。

「自民の調査では、公明支持層の約4割が維新に流れている。どうやら公明は劣勢の兵庫選挙区で維新に支援してもらおう見返りに、京都では票を分ける“密約”を結んだようだ。自民陣営は大慌てです」（地元関係者）

立憲、自民両陣営からディスられる維新もケンカ腰。公務そっちのけで吉村大阪府知事が頻りに楠井の応援に入り、2陣営を猛批判だ。

雨が降りしきる3日昼、京都市内の商業施設入り口で、吉村はガラス張りの街宣車の窓から身を乗り出す“箱乗り”状態で「自民はぬるま湯」「立憲は批判だけ」と言いたい放題。

オラついた表情で語る吉村に「かっこいい」「吉村さーん」と黄色い声援が上がったが、肝心の楠井本人は終始、後ろで手を振っているだけ。タスキがなければウグイス嬢と見まがうほどだ。維新関係者からも「投票用紙に『吉村』と書く人が出てきそう」と不安の声が上がる。

3位に沈むのは誰か。情勢は混沌としている。

（取材・文＝小幡元太／日刊ゲンダイ）

### 参議院選挙 大阪選挙区の中盤情勢

読売新聞 2022/07/05 08:10

浅田・松川優位、高木 肉薄

浅田と松川が優位に立ち、高木が肉薄する。石川、辰巳、石田が追いかける展開となっている。浅田は、大阪府議会で実現した定数削減や報酬カットなど「身を切る改革」の実績を強調する。維新支持層の4割超を固め、戦いを有利に進める。

松川は、前回に続くトップ当選を狙う。安倍元首相らと街頭に立ち、女性が活躍できる社会の実現を訴える。自民支持層の7割弱を固め、無党派層の1割強にも食い込む。

高木は、維新支持層の4割弱を固めた。浅田との得票のすみ分



けがポイントだ。党所属の府議や市議が分担でテコ入れする。無党派層の取り込みもカギを握る。

石川は、公明が半世紀以上維持してきた「伝統の1議席」の死守を目指す。公明支持層の9割超を固めた。街頭演説の動画をネットで発信し、無党派層への浸透も図る。

辰巳は共産支持層の9割超を固めた。石田は、立民支持層から7割を超える支持を得ており、終盤戦に追い込みをかける。

## 「投票済証」工夫 若者つかめ

読売新聞 2022/07/04 05:00



「インスタ映え」を狙った豊中市選管の投票済証



暑中見舞いはがきとして使える箕面市選管の投票済証

選管や団体、政治参加促す 映えるデザイン・ライブ参加特典

選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられてから3回目となる参院選の投開票が近付いている。この間低調に推移している若者世代の投票率を向上させようと、府内の選挙管理委員会や民間団体は、投票を済ませた人に交付される「投票済証」に着目。SNSで話題になるようなデザインにしたり、ライブに参加できる特典を付けたりと、投票行動につながるよう工夫を凝らしている。

(上田貴夫)

### ■インスタ

「I VOTED (投票しました)」——。豊中市選管が期日前投票所で配布しているのは、目立つオレンジ色を基調とし、かわいらしい投票箱のイラストもあしらった“映える”投票済証 (縦1

5センチ、横5センチ)。地元の阪大生らも加わる学生団体と共同で企画したもので、市選管の担当者は「インスタで『投票したら、もらえたよ!』と話題にしてもらえれば、何とか若者を振り向かせたい」と狙いを話す。

市選管によると、18、19歳の投票率(抽出調査)は、2016年参院選で全年代を5ポイント程度下回り、19年参院選では10~15ポイント程度も低かった。「18歳選挙権が導入されて注目の高かった16年から熱気が冷めつつある」と分析する。

このため、昨秋衆院選から投票済証のデザインを一新したところ、投票所によっては足りなくなるほど好評だった。今回は、Q&A方式で投票方法を解説したチラシを市内の高校3年生に配るなど若者対策に力を入れている。

### ■暑中見舞い

箕面市選管の投票済証は、暑中見舞いとして使用できる「ポストカード型」だ。表面には切手を貼ったり、郵便番号を書いたりする欄があり、裏面には市のキャラクター「滝ノ道ゆずる」と「モミジージュ」が箕面大滝を楽しむ涼しげなイラストが描かれている。

19年参院選以降、デザインを変えながら発行しており、国政選では従来の10倍にあたる5万枚が受け取られる人気ぶりだという。担当者は「SNSにアップされているのを見かけることも多く、狙い通りの効果が出ている」と手応えを話す。

### ■音楽フェス

投票済証自体を「ほしい」と思わせるほかに、特典を付けることで選挙への参加を促す動きもある。

若手経営者や学生でつくる大阪市の一般社団法人「UMF」は、投票を済ませ、投票済証や投票所の看板の写真を送ってきた人を、参院選投開票日の7月10日に豊中市の野外音楽堂で開く音楽フェスティバルに無料招待する。また、全国約200店舗で割引などを受けられるクーポンも利用できるようにする。

21年衆院選に合わせ、UMFは、ネット上で28歳までの約2000人にアンケートを実施。65%が「投票する」と答えたが、実際の投票率とは大きく開きがあった。高村治輝代表(30)は「若者も政治に関心はあるが、仕事や遊びに比べて優先順位が低い。イベントやクーポンがあれば、選挙を『お祭り気分』で楽しんでもくれるはず」と強調する。

詳細は、UMFのウェブサイト(<https://umf.or.jp/san-in2022/>)で紹介している。

## 参議院選挙 兵庫選挙区の中盤情勢

読売新聞 2022/07/05 08:15

片山リード 迫る末松

片山が優位に立っている。末松が迫り、伊藤と相崎が一步も譲らぬ展開となっている。片山は、2021年衆院選で維新が県内最多の比例得票を獲得した勢いを追い風として、維新支持層の約8割を固めた。自公政権による国会対応を「決められない政治」と批判し、無党派層の2割にも浸透する。

末松は、国会議員、地方議員と連携する。支援を受ける企業や団体の票固めを積極的に進め、自民支持層の7割弱をまとめた。文部科学相としての実績などをアピールし、16年参院選に続くトップ当選を目指す。

伊藤は、公明幹部が連日応援に入り、公明支持層の9割以上を

固めた。推薦を受ける自民からも、菅前首相らが応援に駆けつけるが、自民支持層への浸透は1割以下にとどまる。

相崎は、連合からの推薦を受けて、立民支持層の8割以上を固めた。子育てや介護の支援充実を掲げており、ラストスパートで勝利を目指す。

### 参議院選挙 福岡選挙区の中盤情勢

読売新聞 2022/07/05 08:55

安定の大家 古賀が続く

大家が安定した戦いを進めている。続いて、ややリードする古賀を、秋野と龍野が激しく競り合いながら追いかけている。大家は70万票でのトップ当選を目標に組織戦を展開する。県医師連盟や県農政連などの企業・団体から推薦を得て、自民支持層の7割弱を固めた。農林水産業者は5割弱、商工自営業者からは3割弱の支持を得た。

古賀は集票力のある官公労系労働組合の支援を受け、立民支持層の8割以上をまとめた。元アナウンサーで知名度があり、無党派層の支持は他候補より多く集めている。

秋野は集会や街頭演説で浸透を図り、公明支持層の9割を固めた。自民幹部も応援に入るが、自民支持層からの支持は1割に届かず、無党派層への浸透も広がりやを欠く。

龍野は維新支持層の6割強しかまとめられていない。政権批判票や浮動票に狙いをつけ、約1割にとどまる内閣不支持層や無党派層からの支持の上積みを目指す。

### 参議院選挙 沖縄選挙区の中盤情勢

読売新聞 2022/07/05 09:30

伊波と古謝が、互いに一歩も譲らないデッドヒートを展開している。伊波は、主に米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設反対を訴え、立民、共産、社民各党の支持層はいずれも9割以上を固めた。無党派層からも6割強の支持を集めている。50歳代以上の年代からの支持では、いずれも古謝を上回っている。

古謝は、元総務官僚としての行政経験をアピールしている。自民、公明両党の支持層のそれぞれ8割以上を固めたほか、維新支持層からも4割以上の支持を受ける。10歳代～40歳代からの支持が厚い。

### 名簿登録されず期日前「仮投票」...沖縄、無効の可能性

読売新聞 2022/07/02 05:00

沖縄県選挙管理委員会は1日、参院選の期日前投票で、同県中城村選挙管理委員会が同村在住の男性(40歳代)の選挙人名簿への登録を怠ったうえ、未登録の場合はできない「仮投票」を受け付けるという二重のミスがあったと発表した。県選管によると、男性の票は無効となる可能性が高いという。

発表では、男性は2020年に同村に転居し住民票も移したが、同村選管が選挙人名簿に登録していなかった。男性が6月30日、村内の期日前投票所に来場して判明。本来は直ちに選挙人名簿に登録して投票させるべきだったのに、その手続きをせず、未登録者には認められていない「仮投票」をさせたという。

### 投票日まであと5日...注目の9選挙区の中盤情勢を探る

読売新聞 2022/07/05 19:00

読売新聞社は今月1～3日、参院選に関する全国世論調査を実施しました。今回の動画は、注目選挙区の中盤情勢がテーマです。ベテラン政治記者・吉田清久編集委員と吉田典之編集委員が、与野党が激突する1人区や、有力候補が乱立して激しいつばぜり合いを演じている都市部の複数人区など計9選挙区をピックアップして分析しました。5日後に迫った投票の前にはぜひ一度、視聴してみてください。ここでは、動画のエッセンスをご紹介します。(デジタル編集部・森山雄太)

参議院選挙 全選挙区の中盤情勢...読売新聞調査

岩手選挙区では、自民党新人の広瀬めぐみ氏が、立憲民主党現職の木戸口英司氏と激しく競り合っています。岩手選挙区は言わずと知れた立民の小沢一郎衆院議員の地元です。自民党は同選挙区で1992年参院選以降、議席を獲得できていませんが、今回は広瀬氏が横一線の戦いを演じており、議席を獲得すれば30年ぶりになります。立民の勢いが落ちているとも分析できますが、いわゆる「小沢王国」の弱体化も指摘されています。

与野党の政界再編の中心に長年君臨してきた小沢氏自身も80歳と高齢になり、網の目のように張り巡らせた後援会組織の高齢化も指摘されています。実際、小沢氏は昨年の中選挙区で比例復活の憂き目にあいました。自民党が「小沢王国」で勝利を収められるか最後まで目が離せません。

山形選挙区では、国民民主党現職の舟山康江氏が、自民党新人の大内理加氏と互角の戦いとなっています。本来、農業県の山形は自民党の地盤の強い地域でしたが、近年は舟山氏や吉村美栄子知事など、非自民党系の有力政治家が一定の勢力を維持しています。前回2019年参院選でも、野党統一候補の新人が自民党現職を退け、今回も与野党が一進一退の攻防を演じています。

今回、国政レベルで国民との連携を深める自民は、党本部主導で候補を出さないことも検討しました。ところが、党県連が強く反対したことで、一転して大内氏の擁立が決まった経緯があります。大内氏の擁立が決まったのは5月で、自民党としては出遅れが否めません。

一方、舟山氏にも不安要素があります。国民が与党への傾斜を強めたことで、政権批判票を十分に取れないのではないかとの見方もあるからです。今回も野党側と大接戦のまま終盤にもつれ込む展開が予想されます。

定数6と全国で最も多い東京選挙区では、自民党現職の朝日健太郎氏が頭一つ抜け出し、次に立憲民主党現職の蓮舫氏、公明党現職の竹谷とし子氏、自民党新人で俳優の生稲晃子氏がほぼ横一線と並んでいます。残る2議席を巡って、共産党現職の山添拓氏と日本維新の会新人の海老沢由紀氏、れいわ新選組代表の山本太郎氏と、立民2人目の候補で新人の松尾明弘氏がデッドヒートを繰り広げています。立民は2議席を目指すには、知名度の高い蓮舫氏から松尾氏にどう組織票を振り分けていくか、終盤の最も大きな課題になります。

2019年に同選挙区で初めて議席を得た維新も、海老沢氏が定数6に滑り込めるかどうか、全国政党へと脱皮できるかどうかの指標になります。また、小池都知事の秘書も務めた「ファーストの会」代表の荒木千陽氏がどこまで票を獲得できるかにも注目です。今後、国政への再転身もささやかれる小池氏の今後の動

向にも関わってくるからです。

神奈川選挙区は、改選定数4に加えて、非改選の欠員1を合わせて選ぶため計5議席を争います。そのため、主要政党の候補が乱立する混戦模様になっています。自民党現職の三原じゅん子氏が一步リードし、自民党元職の浅尾慶一郎氏と日本維新の会元職の松沢成文氏が追いかけています。残る2議席を巡っては、公明党現職の三浦信祐氏と共産党新人の浅賀由香氏、立憲民主党の新人2人、水野素子氏と寺崎雄介氏が追いかける展開になっています。

5位になる候補は、当選は当選ですが、上位4人とは条件が違います。5位は非改選の欠員の1枠です。その残り任期は3年後の2025年までで、上位4人の2028年の約半分です。非改選の現職がいる自民、公明、立民は、仮に5位当選の候補がいると、今回の当選者と現職の間で3年後の参院選で公認を巡る調整が必要になることも想定されます。それだけに各党の狙いは「4位以内」に入ることなのです。現時点で当選圏内が見えていない立民は、共倒れを避けるため最終盤に1人に票を集める戦略もあり得るとの見方もあります。ただ、候補2人がしのぎを削る中、現実的に方向転換できるかは不透明です。

山梨選挙区も激戦で、自民党新人の永井学氏が立憲民主党現職の宮沢由佳氏と横一線になっています。旧民主党の地盤が強い地域は労組が強かったり、大物議員の地元など、例えば北海道、長野、愛知といくつか挙げられますが、山梨もその1つと言えます。山梨選挙区の議席は、民主党時代に幹事長や参院副議長を務めた奥石東氏から後継指名を受けた宮沢氏が2016年に初当選して受け継ぎました。泉代表も公示後、山梨入りして陣営を鼓舞するなど党が重視している姿勢は明白です。山梨選挙区は立民にとって絶対に落とせない選挙区なのです。これから相当なこ入れが入ることが予想され、全国的に見ても、最終盤まで予断を許さない選挙区になっています。

関西以西に目を向けると、京都選挙区は定数2に対して、自民党新人の吉井章氏と立憲民主党で幹事長も務めた現職の福山哲郎氏、日本維新の会新人の楠井祐子氏が横一線で並んでいます。京都は構図が特異で、立民と同じく旧民主党を源流とする国民民主党が維新の楠井氏を推薦しています。国民が維新候補を推薦したのは全国で唯一京都だけです。自民、立民、維新に国民が絡んで構図が複雑化しています。京都が地元の国民の前原誠司・元外相は楠井氏を全面支援し、自身の後援会組織も全面投入するほどの力の入れようです。旧民主党時代は距離も近かった福山氏と前原氏との戦いという点も耳目を集めています。三つ巴となっている京都選挙区の結果が注目されます。

改選定数4の大阪選挙区では、日本維新の会現職の浅田均氏と自民現職で前回トップ当選の松川るい氏がリードしており、維新現職の高木佳保里氏が追いかけています。地元・大阪で現職2人の当選圏内が見えつつある維新が地力を見せつけていると言えます。そして、残る1議席を巡る争いがし烈を極めています。公明党現職の石川博崇氏、共産党元職の辰巳孝太郎氏と立憲民主党新人の石田敏高氏が猛烈に追いつけています。特に、公明にとって大阪での議席確保は至上命題です。党内には「常勝関西」というキャッチフレーズもあり、大阪選挙区での議席を落とすとなれば衝撃が走ることは必至です。ですので、公明にとっては、終盤に向けての最重点区となりそうです。共産も前回2019年参院

選では、辰巳氏は次点に立っているのですが、何とか議席をつかみとりたいところでしょう。

数少ない国民民主現職が戦う大分選挙区では、自民党新人の古庄玄知氏と国民の足立信也氏が横一線の戦いです。大分選挙区では、足立氏が3期にわたり守ってきた議席です。古庄氏は2016年参院選で、その足立氏に約1000票差で敗れました。2回目の対決となる今回、古庄氏はその雪辱を果たそうと必死です。国民にとっても貴重な現職を落とすわけにはいきません。横一線のまま最終盤になだれ込む展開が予想され、全国の1人区でも最も激戦と言っても過言ではないかもしれません。

沖縄選挙区では、保守勢力の一部と革新勢力で作る「オール沖縄」が支援する無所属現職の伊波洋一氏と、自民党新人の古謝玄太氏が互角の戦いを演じています。沖縄は9月に知事選を控え、参院選が前哨戦の様相となっています。自民党は支援した候補が今年の県内の市長選で4連勝し、その余勢を駆って参院選でも勝利しようと党本部が全面支援しています。知事選候補も古謝氏に同行して、知事選を見据えて連動した戦いを徹底しています。「オール沖縄」にとっても、参院選で議席を得ることで、知事選に向けて自民党の勢いをそぎたいところなのです。米軍普天間飛行場の辺野古移設反対を旗頭に、支持拡大を強化していく構えです。

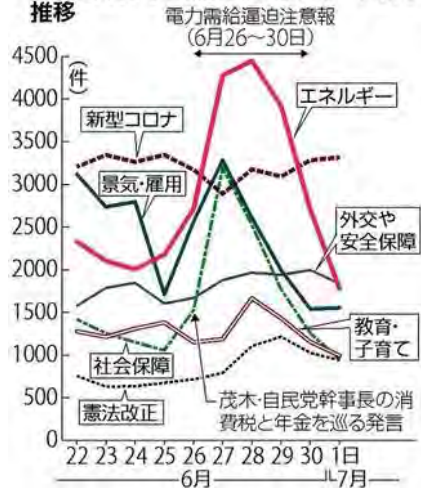
### 参院選挙争点ツイート分析、猛暑で「エネルギー」急上昇...消費税議論で「景気・雇用」も伸びる

読売新聞 2022/07/05 15:00

読売新聞社は、参院選が公示された6月22日から7月1日までの10日間、ツイッターで話題になった争点を分析した。猛暑や政府からの節電呼びかけなどの影響で、「エネルギー」の投稿数が急上昇し、「景気・雇用」も伸びていた。



### 参院選の主な争点に関するツイート数の推移



計算社会科学を専門にする東京大の鳥海不二夫教授と筑波大の吉田光男准教授の協力を得て分析した。リツイート（転載）を



含む日本語の全ての投稿から無作為に抽出した約1%を対象にした。争点としては「エネルギー」「新型コロナウイルス」「景気・雇用」「外交や安全保障」「社会保障」「教育・子育て」「憲法改正」の7項目を設定した。「エネルギー」なら原発や停電、「景気・雇用」なら給与や円安など、関連するキーワードが含まれたツイート数を集計した。

「エネルギー」は約2万8400件だった。政府は6月26日、

### ひっぱく

東京電力管内に「電力需給 逼迫 注意報」を発令したが、27日の投稿数は、それまでの1日2000件台から約4300件に急上昇した。発令から解除されるまでの5日間のうち3日間は、それまで投稿が最も多かった「新型コロナウイルス」を上回った。

「景気・雇用」は約2万3900件だった。消費税を含む投稿の集計で、自民党の茂木幹事長が6月26日のNHK討論番組で「野党が言うように（消費税率を）下げると、年金財源、3割カットしなければならない」と発言し、野党が反発して注目された。27日の投稿数は前日の約2600件から約3300件に増えた。年金を含む「社会保障」も約3200件に倍増した。

「新型コロナ」の投稿は約3万2100件で最多だったが、昨年1日平均と比べると、半数以下に減っていた。参院選が始まって注目度は上がっていない。

鳥海教授は「昨年1日平均と比べると、エネルギーと景気・雇用に関する投稿数は5倍以上になっている。猛暑などによる影響もあるが、選挙の争点としても注目が集まった結果とみられる」と分析している。

### 情勢「堅調」伝わる自民、恐れるのは失言...「おごりがあると見られかねない」

読売新聞 2022/07/05 19:06

政府・自民党は、終盤戦に入った参院選（10日投開票）で、演説中の失言への警戒を強めている。自民は、報道各社の情勢調査で堅調な戦いぶりが報じられている。ただ、失言が相次げば、一気に自民への逆風につながりかねないとの懸念があるためだ。



山際経済再生相



自民党の麻生副総裁

失言を巡っては、山際経済再生相が3日の街頭演説で、「野党の人からくる話は政府は何一つ聞かない」と発言した。山際氏は5日の記者会見で、「地域の意見を国政に反映させたいと強調する中で、誤解を招く発言になった」と釈明した。松野官房長官は4日に山際氏を注意した。

4日には、麻生副総裁が街頭演説で、ロシアのウクライナ侵略に関して、「弱い子がいじめられる。国も同じ」などと語った。

自民幹部は、「物価高への不満が強まる中、さらに失言が続けば、有権者から『自民におごりがある』と見られかねない」と話す。岸田首相（自民党総裁）は4日夜、党本部で茂木幹事長らと参院選の情勢を分析し、「1議席でも多く取れるよう最後の1票

まで絞り出せ」と指示した。各陣営の緩みを引き締め、ラストスパートに全力を尽くすよう求めたものだ。

立憲民主党の泉代表は5日、岩手県花巻市で街頭演説し、山際氏の発言に関して、「どんな声でも受け止めるのが政治のあり方だ。心の狭い政治になっている」と訴えた。麻生氏の発言についても、記者団に「例えとして大きな間違いだ。撤回すべきだ」と批判した。

### 参議院選挙、与党は改選過半数へ堅調 共同通信終盤調査

日経新聞 2022年7月6日 5:00



街頭演説に耳を傾ける人たち（5日午後、川崎市、画像の一部を加工しています）=共同

共同通信社は第26回参院選について2～5日、電話世論調査を実施した。全国の有権者4万3千人以上から回答を得た。取材も加味し終盤情勢を探ったところ、自民、公明両党は改選124議席の過半数63を上回る勢いを維持し、堅調な選挙戦を展開する。自民は60議席台を狙う。

推定獲得議席数					
	合計	選挙区	比例代表	改選	非改選
自民	62 (+5/-6)	44 (+3/-5)	18 (+2/-1)	55	56
立民	17 (+6/-5)	9 (+4/-3)	8 (+2/-2)	23	22
公明	14 (+1/-2)	7 (-1)	7 (+1/-1)	14	14
維新	13 (+4/-4)	6 (+3/-3)	7 (+1/-1)	6	9
共産	6 (+2/-2)	2 (+1/-1)	4 (+1/-1)	6	7
国民	3 (+3/-2)	1 (+1/-1)	2 (+2/-1)	7	5
れいわ	3 (-2)	1 (-1)	2 (-1)	0	2
社民	1 (+1/-1)	0	1 (+1/-1)	1	0
N党	1 (-1)	0	1 (-1)	0	1
諸派	0 (+2)	0 (+1)	0 (+1)	0	0
無所属	5 (+2/-2)	5 (+2/-2)	—	8	7
合計	125	75	50	120 (欠員1)	123 (欠員1)

±の数字は振れ幅の推定値。正副議長は元の党派に戻した。  
合計の125と選挙区の75には神奈川県選挙区の欠員補充1を含む。共同

立憲民主党は改選23議席を割り込む恐れがあり苦戦している。改選6議席の日本維新の会は選挙区、比例代表ともに伸ばし、大幅な議席増をうかがう。

自公に維新、国民民主党などを加えた憲法改正に前向きな「改憲勢力」は国会発議に必要な3分の2以上の議席維持が視野に入る。

投票先を未定とした人は選挙区で39.6%、比例代表で38.1%おり、10日の投票日までに情勢が変わる可能性は残る。

勝敗の行方を左右する全国 32 の 1 人区で、自民は 6 月 22、23 両日の序盤情勢調査に続き大半で優勢だ。一方の野党は立民が青森、国民が山形、無所属が沖縄でそれぞれ先行するが広がりやを欠く。野党共闘が限定的となっているのが要因とみられる。

自民は選挙区 44 議席、比例 18 議席が望める情勢になりつつある。改選 55 議席からの上積みに向け、1 人区では新潟や山梨、長野など激戦区での戦いが鍵となる。13 の複数区は京都を除く全てで議席獲得が確実な情勢だ。東京、神奈川、千葉に加え、北海道も 2 人目の当選を目指し迫り上げる。

公明は選挙区、比例とも改選議席（計 14）を維持する見通しだ。立民は 20 議席を下回る恐れがある。比例で改選議席確保が視野に入るが、選挙区は苦しい展開が続く。複数区では千葉、東京、福岡で優位を保つものの、神奈川や大阪などは議席を得られない可能性がある。

維新は選挙区で大阪の 2 議席、兵庫の 1 議席をそれぞれ固めた。選挙区、比例とも倍増が期待でき、比例は 7 議席を見込む。共産は現有の改選 6 議席維持を狙う。国民は序盤から伸び悩み、改選議席を半減させる懸念もある。れいわ新選組は選挙区と比例で計 3 議席が期待できる。

社民党と、NHK 党は 1 議席に届くかどうか微妙だ。諸派の参政党は比例 1 議席獲得の可能性もある。無所属は埼玉、静岡、広島で当選圏に達する勢いだ。

参院選は非改選の神奈川選挙区の欠員 1 を補う「合併選挙」を合わせた計 125 議席を争う。〔共同〕

### 参議院選挙の比例代表、組織内候補は「狭き門」に 特定枠が圧迫、旧民主勢分裂の影響も

日経新聞 2022 年 7 月 6 日 0:30



写真=共同

改選定数 50 を争う参院選の比例代表で、組織・団体候補が票固めを急いでいる。日本経済新聞社の情勢調査によると自民党は改選 19 議席の水準を固め議席増を視野に入れる。近年は業界団体の集票力が落ちた。「特定枠」の影響もあって当選のハードルは上がる。

連合傘下の労働組合の組織内候補にとっては旧民主党の分裂に伴い、前回 2019 年に続き立憲民主、国民民主両党に分かれての選挙戦となる。第 2 党は立民と日本維新の会が競る展開だ。

参院選の有権者は「選挙区」と「比例代表」に 1 票ずつ計 2 票を投じる。比例代表選は全国単位で政党名か個人名で投票できる。その合計が政党の得票となり「ドント式」と呼ぶ計算方法で議席配分は決める。

同じ政党内では個人名の得票が多い順に当選する「非拘束名簿式」をとる。大規模な支持団体がある候補者やタレントなどの当選が目立った。

自民は比例代表で前回の 19 年参院選と同じく 33 人を公認した。郵政関係や農業、医師など業界団体が支援する候補が並ぶ。これらは自民内で例年得票数が多い団体だ。

業界団体の集票力には陰りが見える。

19 年に全国農政連が立てた候補の得票数は 21.7 万票だった。3 選したものの、13 年の 33.8 万票、16 年の組織内候補の 23.6 万票からは減らす結果となった。

日本医師連盟の組織内候補も 19 年は 15.2 万票、13 年の 24.9 万票、16 年の 21.0 万票に比べると減少傾向は明らかだ。介護系団体から 19 年参院選に出た新人 2 人はいずれも落選し、今回は現職候補に一本化した。

日本遺族会のように高齢化で会員数が減った団体もある。遺族会の候補は 16 年参院選で 19 人中 18 番目の当選だった。

組織・団体候補はいま党内で危機感を強めている。特定枠の問題があるためだ。「1 票の格差」に対応するため「鳥取・島根」「徳島・高知」の合区ができた。特定枠は事実上、選挙区で立候補できなくなる人の受け皿として 19 年から取り入れられた。

政党内の当選者は通常、個人名での得票の順で決まる。特定枠はそれにかかわらず政党で優先的に該当候補を定められる。党の獲得議席から実質 2 減となるため当選ラインが上がる。

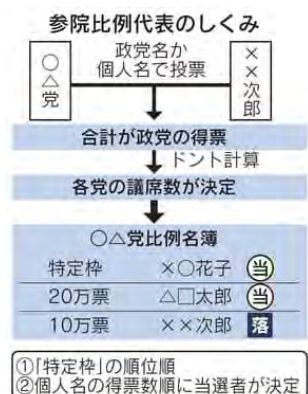
自民は 19 年に続き今回も合区の選挙区が地盤の 2 候補を特定枠にはめた。19 年の当選最下位者の個人得票は 13.1 万票で、特定枠の制度がなかった 16 年の 10.1 万票より当選圏入りすることが難しくなった。

公明党は候補ごとに地域を割り振り、域内の支持者に投票を呼びかける戦術をとる。比例での 800 万票獲得と 7 議席死守を掲げる。日経新聞の情勢調査によると公明は改選議席数をおさえ、増やす余地もある。

主な労組候補の参院選の集票力と当落		
	19年	22年
自治労	○15.7万	新人
日教組	○14.8万	新人
JP労組	○14.4万	新人
情報労連	○14.3万	現職
JAM	×14.3万	—
基幹労連	—	新人
UAゼンセン	○26.0万	現職
自動車総連	○25.8万	現職
電力総連	○25.6万	新人
電機連合	×19.2万	現職

(注) 背景が白は立民、網掛けは国民民主から出馬。19年の基幹労連はJAM候補を、22年のJAMは基幹労連候補を支援

当選へのハードルが高いのは労働組合から支援を受ける候補も同じだ。労組系の候補は今回、立民から 5 人、国民民主から 4 人だ。9 人を推薦する連合の労友女子会長は「全員必勝へ共に頑張ろう」と呼びかける。





19 年は国民民主から 5 人が立候補し、UA ゼンセンと自動車総連、電力総連が支援する 3 人が当選した。19 万票を得た電機連合と基幹労連から支援を受けたものづくり産業労働組合 (JAM) の 2 人は落選した。

19 年参院選の比例枠は立民が 8、国民民主が 3 だ。各党獲得の比例の議席枠が影響し、立民から出馬した労組系候補は 5 人全員が当選した。

連合幹部は「現状だと国民民主から出る労組系候補 4 人全員の当選は難しい」と話す。

立民も労組系とは別に集票力を見込んだ候補を立てており、個人票次第では議席を失う可能性がある。

19 年の結果を受けて基幹労連と JAM は今回、出馬する政党を国民民主から立民に切り替えた。基幹労連の候補を JAM が支援する。唱える政策の実現に向けて国会議員を送り込みたい労組側の事情が透ける。

日本維新の会は比例代表に元プロ野球選手や俳優などタレント候補を複数擁立した。

大きな支援団体のない維新は、知名度のある候補を比例から出すことで無党派層からの得票を狙う。維新は改選 3 議席から 2 倍以上への伸びを射程圏におさめ立民に迫っている。

## 参議院選挙の各社情勢調査 与党堅調「改選過半数」大勢 各党、調査の影響注視

日経新聞 2022 年 7 月 5 日 1:00



街頭演説に耳を傾ける人たち (4 日午後、新潟市。画像の一部を加工しています) =共同

日本経済新聞社を含めた報道各社による参院選 (7 月 10 日投票)

の情勢調査で、与党の堅調な戦いぶりが明らかになった。改選 124 に欠員補充 1 を加えた 125 議席を巡り各社は自民、公明両党が改選過半数の 63 を超える勢いとみる。

報道各社は 6 月 22 日の参院選の公示後から中盤戦にかけ調査を実施した。情勢には投票日まで流動的な要素がある。

岸田文雄首相 (自民党総裁) は 7 月 4 日夜、党本部で麻生太郎副総裁、茂木敏充幹事長らと参院選情勢を巡り協議した。10 選挙区程度を重点的に支援すると決めた。北海道や新潟、京都などが激戦になっているとの認識を共有した。

今回の参院選の総定数は 248 で、過半数は 125 だ。与党の非改選議席は計 70 あり、自公で 55 議席をとれば過半数を維持できる。

与党内には非改選も含めた過半数より一段ハードルが高い改選過半数を、事実上の勝敗ラインととらえる見方がある。

日経新聞は 1~3 日に調査した。与党が改選過半数に達する情勢で、自民は全体の勝敗に影響を与える 32 の 1 人区 (改選定数 1) について 6 割で優位に立つ。

読売新聞による同じタイミングでの調査でも同様の分析だった。日経調査で自民の比例票は、前回 2019 年参院選の獲得議席 19 に向けて上積みが見えてきた。読売調査は前回議席に届かない可能性もあるとの結果だった。

毎日新聞の 2、3 両日の調査は与党が改選過半数に届きそうだと分析だった。6 月 25、26 日の序盤調査に比べると野党がやや盛り返したものの、大きな変化はみられていない。

朝日新聞や産経新聞、共同通信が実施した 6 月の公示後の調査もほぼ同じ傾向だった。

憲法改正に前向きな自民、公明、日本維新の会、国民民主党などの「改憲勢力」が国会発議に必要な総議員の 3 分の 2 (166 議席) を維持できるかも焦点だ。ほとんどの社の調査で 3 分の 2 を視野に入れつつある。

	自民	立民	公明	維新
朝日新聞 (6/22, 23)	56~66	13~22	12~15	9~15
共同通信 (6/22, 23)	60議席台を狙う	20議席を割る恐れ	比例で7議席を維持する手堅い展開。7選挙区でも議席を確保する情勢	15議席に届きそうな勢い
産経新聞 (6/25, 26)	60~68	17~24	10~14	11~14
日経新聞 (7/1~3)	2019年の57議席から伸びしろがある	改選23を維持できるか微妙な情勢	14議席前後となりそう	2桁台への勢力拡大が見えつつある
読売新聞 (7/1~3)	55~65	13~24	10~15	11~19
毎日新聞 (7/2, 3)	53~66	11~24	10~14	11~17

立憲民主党は伸び悩みが目立つ。立民は選挙区と比例代表をあわせた改選 23 議席以上を目標にしてきた。

維新は改選 6 議席から倍増の 12 人以上の当選をめざす。松井一郎代表は野党で最多となる比例の得票を狙う。

各社調査によれば立民が改選 23 議席を維持できるかは微妙な情勢だ。維新は大幅に上積みするとの予想が多い。

共産党は比例代表に加え都市部の選挙区で議席をうかがう。国民民主は現職が立候補した大分の選挙区で、日経調査では自民候補を追う展開となった。れいわ新選組や社民党、NHK 党も議席獲得の可能性はある。

報道機関の情勢調査は日本では 1970 年代から本格的に広がった。有権者の投票行動に影響する「アナウンスメント効果」があるとされる。有権者が勝ち馬に乗ろうとしたり、判官びいきのように負けそうな方に投票したりする効果が見込まれてきた。

2021 年の衆院選はほとんどの報道各社が「与党過半数維持の攻防」と予想した。





結果は自民が単独で絶対安定多数を確保している。事前に与党が敗北する可能性が広まった影響で「不安定な政治状況になることを好まない人が、与党に投票した」との指摘がある。

1998年の参院選は当時の橋本龍太郎首相の支持率が堅調だったため、自民の勝利を予測する声が出ていた。選挙期間中に金融不安が拡大したほか、減税を巡る橋本氏の発言がぶれるなどしたため自民は大敗した。橋本氏は首相辞任に追い込まれた。選挙期間中に情勢が大きく変わることもある。

### 憲法改正か護憲か 緊急事態条項や9条で分かれる見解 改憲勢力3分の2維持かが焦点に

東京新聞 2022年7月5日 21時01分  
参院選「公約点検」 ⑧憲法

ロシアによるウクライナ侵攻を受け、通常国会では憲法に緊急事態条項を創設するかどうかの議論が活発に行われた。自民党は公約で、緊急事態条項の創設や自衛隊明記など党改憲4項目について「国民に改正の必要性を説明し、憲法改正を早期に実現」と明記した。

国会審議では緊急事態条項の具体的な内容として、大規模災害時などに議員任期が満了する場合に備え、任期延長を明記すべきだという意見や、内閣が国会の関与なく法律に相当する「緊急政令」を制定できるようにすべきだ一などの意見が出された。

緊急事態条項を巡っては、自民に加え、日本維新の会、国民民主党が賛成している。これに対して、立憲民主党、共産党、れいわ新選組、社民党は反対の立場だ。

立民は公約に緊急事態条項について記載していないが、衆院憲法審の議論では、任期満了時に衆参の選挙ができなくても参院の緊急集会などで対応可能で、議員任期延長のための改憲は不要と主張。緊急政令も人権の制限につながりかねないとして反対した。公明党は任期延長について「議論を積み重ねる」。緊急政令については「政令委任できる範囲をあらかじめ法律の中に規定すべきだ」といづれも慎重な立場を示す。

9条を巡っては、自民、維新がともに自衛隊を明記するよう公約に掲げた。

国民は公約に「これまで9条が果たしてきた役割にも配慮」としながら「具体的な議論を進める」と記載した。公明は9条1項、2項を「堅持する」と明記。自衛隊明記は「引き続き検討を進める」とした。

立民は9条に自衛隊を明記する自民案について「前法より後法が優先するという法解釈の基本原則が働き、戦力不保持・交戦権否認を定めた9条2項の法的拘束力が失われる」として反対。共産、社民、れいわも反対している。

緊急事態条項や9条に限定せず、改憲の是非でみると、自民、公明、維新、国民、NHK党が前向きで、立民、共産、れいわ、社民が慎重な立場だ。

衆院では自民、公明、維新、国民などの改憲勢力が改憲の国会発議に必要な3分の2以上の議席を握る。参院選で与党が過半数を維持した場合、岸田文雄首相にとって衆院を解散しない限り、2025年参院選まで大型の国政選挙がない「黄金の3年間」を迎える。改憲に意欲を見せる首相には、自らの政策課題に取り組みやすい環境が整うだけに、改憲勢力が参院選で非改選も含めて、

3分の2の議席を維持するかどうか改憲論議に大きく影響する。(佐藤裕介)

憲法 各党の主な公約	
自民	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自衛隊の明記②緊急事態対応③合区解消④教育の充実一の自民党改憲4項目について、国民に改正の必要性を説明</li> <li>初めての憲法改正への取り組みをさらに強化</li> <li>衆参の憲法審査会で、改正原案の国会提案・発議を行い、国民投票を実施し、憲法改正を早期に実現</li> </ul>
公明	<ul style="list-style-type: none"> <li>9条1項、2項は今後も堅持</li> <li>憲法改正でしか解決できない課題が明らかになれば、必要な規定を付け加えること(加憲)は検討</li> </ul>
立民	<ul style="list-style-type: none"> <li>憲法の基本理念と立憲主義に基づき「論議」を進める</li> <li>内閣による衆院解散の制約、臨時国会召集の期限明記、各院の国政調査権の強化、政府の情報公開義務、地方自治の充実について議論を深める</li> <li>自民の9条改正案に反対</li> </ul>
維新	<ul style="list-style-type: none"> <li>「教育の無償化」「統治機構改革」「憲法裁判所の設置」に加え、自衛隊を9条に明記</li> <li>緊急事態条項を創設</li> </ul>
共産	<ul style="list-style-type: none"> <li>9条改憲に反対を貫く</li> <li>憲法の前文を含む全条項を守り、特に平和的民主的諸条項の完全実施を目指す</li> </ul>
国民	<ul style="list-style-type: none"> <li>①武力攻撃②内乱・テロ③大規模災害④感染症大規模まん延の緊急事態が発生し、選挙ができなくなった場合に、議員任期の特例延長を認める規定を創設</li> </ul>
れいわ	<ul style="list-style-type: none"> <li>政府が現行憲法を守るように国民が監視していく必要がある(※)</li> <li>(※)は、現在も踏襲している衆院選公約から</li> </ul>
社民	<ul style="list-style-type: none"> <li>憲法理念を暮らしや政治にいかす</li> <li>憲法改憲に反対</li> </ul>
NHK党	<ul style="list-style-type: none"> <li>憲法改正の発議を行い、国民投票を実施することは国民にとって貴重な政治参加の機会</li> </ul>

### 岸田政権下の憲法改正、賛成36%・反対38% 朝日新聞社世論調査

朝日新聞デジタル 2022年7月6日 5時00分

自民、公明の与党に、改憲論議に積極的な日本維新の会、国民民主を加えた4党で非改選を合わせ、参院で改憲発議に必要な3分の2(166)を超える可能性が強まっていることが、朝日新聞の終盤情勢調査で分かった。ただ、岸田政権のもとで、憲法改正をすることの賛否については同時に実施した世論調査で「賛成」36%…

残り 580 文字

### 麻生氏発言「プーチンと同じ」 共産幹部【22参院選】

時事通信 2022年07月05日 20時14分



共産党の小池晃書記局長

共産党の小池晃書記局長は5日、金沢市での街頭演説で、ロシアのウクライナ侵攻をめぐり自民党の麻生太郎副総裁が防衛力強化を訴える演説で「弱い子がいじめられる」と述べたことに関

し、「とんでもない発言だ。『いじめは絶対に駄目だ』と言うのが政治の仕事だ」と批判した。その上で「軍力が強ければ何をしてもいいのか。国連憲章を踏みにじるプーチン（ロシア大統領）と全く同じ立場だ」と指摘した。

立憲民主党の泉健太代表は、岩手県花巻市で記者団に「弱い子はいじめられて良いわけがない。例えとしては大きな間違いで、撤回してもらわなければならない」と非難した。

### 「弱い子がいじめられる」 自民・麻生氏【22参院選】

時事通信 2022年07月04日16時31分



自民党の麻生太郎副総裁

自民党の麻生太郎副総裁は4日、千葉県市川市で街頭演説し、ロシアによるウクライナ侵攻に触れた上で「子どもの時にいじめられた子はどんな子だった。弱い子がいじめられる。強いやつはいじめられない」と語った。その上で「国も同じ。強そうな国には仕掛けてこない。弱そうな国がやられる」と述べ、安全保障関連法などを整備してきた意義を強調した。

### 山際氏発言、火消し急ぐ 「野党の話聞かない」、緩み警戒岸田政権【22参院選】

時事通信 2022年07月05日07時07分



記者会見に臨む山際大志郎経済再生担当相＝5月18日、東京都千代田区

山際大志郎経済再生担当相が参院選遊説で「野党の話は聞かない」と発言したことを受け、岸田政権は4日、松野博一官房長官が山際氏本人に注意するなど火消しを急いだ。参院選で優勢が伝えられている自民党は「緩み」を警戒し、引き締めを図る方針。野党は反発を強め、立憲民主党の泉健太代表は「とんでもない発言だ」と批判した。

「聞く力」を掲げる岸田内閣で、山際氏は政権肝煎りの「新しい資本主義」や新型コロナウイルス対策を担当する。青森県八戸市で3日に自民党候補の応援演説をした際、「野党の人から来る話はわれわれ政府は何一つ聞かない。生活を本当に良くしようと思うなら、自民党、与党の政治家を議員にしないといけない」と述べた。

木原誠二官房副長官は4日の記者会見で、山際氏の発言について「岸田政権の考え方か」と問われ、「政府は国民の声を丁寧に聞き、国民の生活をしっかりと守っていくことを基本としている。与野党問わず耳を傾け、野党を無視するようなことはしない」と釈明。松野氏が朝の時点で山際氏に「誤解を招くことがないよう発言に慎重を期してほしい」と注意したと明かした。

選挙期間中の閣僚や党幹部の「失言」は有権者の動向に影響を与えかねない。自民党の閣僚経験者は「つまらない材料を与えた。気を引き締めていかねばならない」と懸念を示した。

自民党は4日夜、岸田文雄首相（党総裁）ら幹部が党本部に集まって終盤情勢を分析。10日の投開票まで緊張感を持って臨む方針を確認したとみられる。麻生太郎副総裁は4日の千葉県市川

市での演説で、「参院選は次の衆院選を占う上で非常に大きな要素だ。来年は統一地方選もある」と強調した。

泉氏は東京・JR新宿駅前での演説で山際氏発言を取り上げ、「国民の代表として全くふさわしくない。政権、閣僚は耳の痛い話であっても聞く、野党の政策であっても良いものは聞くのが当たり前ではないか」と指摘。日本維新の会の松井一郎代表も大阪市内で記者団に「ついつい本音が出たという感じだ」と語った。

### ◇山際担当相発言の要旨

山際大志郎経済再生担当相が青森県八戸市で3日に街頭演説した際の発言要旨は次の通り。

地域でしっかり地元の皆さま方と対話ができる政治家が必要だ。当選させていただいたら〇〇さん（自民党候補の名）の言葉、きちんと声を吸い上げ、政策につなげていく。野党の人から来る話はわれわれ政府は何一つ聞きませんよ。だから皆さんの生活を本当に良くしようと思うなら、やはり自民党、与党の政治家を議員にしないといけない。この重要性が問われているのが今回の参院選だ。

### 山際氏「発言に慎重期す」 誤解を強調、撤回せず

時事通信 2022年07月05日10時29分



記者会見する山際大志郎経済再生担当相＝5日午前、東京都千代田区

山際大志郎経済再生担当相は5日の閣議後の記者会見で、「野党の話は聞かない」と述べた参院選遊説での自身の発言について、「地域の方々の意見を国政に反映したいと強調する文脈の中で、誤解を招く発言になった。（発言には）慎重を期していきたい」と釈明した。

### 山際氏発言、火消し急ぐ 「野党の話聞かない」、緩み警戒岸田政権【22参院選】

ただ、撤回しないのかとの質問に対して「丁寧に発信していく」と繰り返した。

山際氏は3日、青森県八戸市での自民党候補への応援演説で「野党の人から来る話はわれわれ政府は何一つ聞かない。生活を本当に良くしようと思うなら、自民党、与党の政治家を議員にしないといけない」などと述べていた。

### 山際大臣発言だけじゃない！ 岸田自民を待ち受ける参院選終盤“まさか”の落とし穴

日刊ゲンダイ公開日：2022/07/05 13:50 更新日：2022/07/05 14:10



「優勢」と報じられているが…（有権者に声を掛ける岸田首相＝左）／（C）日刊ゲンダイ

いよいよ終盤戦に突入した参院選。大新聞は「与党優勢」と中盤情勢を報じるが、「好事魔多し」だ。

山際経済再生相が「野党の人から来る話は、われわれ政府は何



一つ聞かない」という民主主義否定のトンデモ発言。早速、松野官房長官は4日、山際氏を注意し、火消しに走ったが、野党は攻勢を強めている。さらに岸田自民には“まさか”の落とし穴が待ち構えている。

#### ◆アップルショック

岸田政権の物価対策への有権者の不満が日に日に高まる中、追い打ちをかけたのが米アップルショックだ。1日、iPhoneやiPadなど主力製品を即日値上げ。最大4万円もアップした。急激な円安が理由とみられている。

新機種に買い替えたくても、これだけ価格が急騰すれば躊躇する人も多い。4日まで手に入ったはずの商品が、円安を理由にアッという間に手を出せなくなる。消費者は改めて円安の恐ろしさを痛感したはずだ。その怒りの矛先が円安放置政権に向かう可能性は十分ある。

#### ◆コロナ感染急拡大

4日の東京の新型コロナウイルスの新規感染者数は2772人。前週の同曜日より1255人増えた。前週同曜日超えは17日連続。直近7日間平均は3380人で前週比162%とすごい増え方だ。瞬間的には投票日前の7日ごろには5000人を突破してもおかしくない。

全国的に感染者数は急増しており、感染が拡大すると、内閣支持率は下がる傾向にある。与党には逆風だ。

楽勝ムードがここにきて一転



突然の大幅値上げ（アップルのスマートフォン

「iPhone13」シリーズの4機種）／（C）共同通信社

メディアは、序盤から一貫して「与党優位」と報じている。

「1人区での野党候補の一本化が11選挙区にとどまり、自民には当初から楽勝ムードがありました。ただ、ここへきて福島、福井、宮崎など『自民優勢』から『接戦』に転じた選挙区も出てきた。楽勝ムードで失速気味の自民に対し、必死の野党候補が猛追すれば、自民が圧倒的に強い県を除いた多くの1人区で接戦に持ち込める可能性は高いと思います」（法大名誉教授の五十嵐仁氏=政治学）

4日の読売新聞と日経新聞は、32の1人区のうち、19選挙区で「自民優勢」と伝えた。逆に言えば、13選挙区で野党が勝つ可能性が残っている。前々回の11勝、前回の10勝を上回る数字だ。自民が1人区で気を抜いてオセロのようにひっくり返れば、全体の勝敗も違ってくる。

「野党に追い風が吹いているとは思えませんが、逆風もない。自民はマイナス材料が出てきています。事前の情勢報道と違った選挙結果になることはよくあること。投票日までには情勢はいくらでも変わります」（五十嵐仁氏）

岸田自民が落とし穴にハマれば、アッと驚く開票結果が出るかもしれない。

二極化・格差社会の真相 政治家がチンピラまがいの恐喝をする国で「日本は民主主義だ」と自画自賛する身勝手

日刊ゲンダイ公開日：2022/07/06 06:00 更新日：2022/07/06

06:00



税収の使途を明確にする気はカケラもなく（自民党の茂木敏充幹事長）／（C）日刊ゲンダイ

NATO（北大西洋条約機構）は冷戦後最大の路線転換に踏み切った。先月末にマドリードで行われ、岸田文雄首相も参加した首脳会議が、ロシアを「パートナー」から「最大かつ直接的な脅威」の位置づけに変更し、中国の行動にも「我々の利益、安全保障、価値観への挑戦」と強い警戒感を示して、彼らへの対抗姿勢を鮮明にしたものだ。

「権威主義対民主主義」のアピールは相変わらず。で、考え込んだ。民主主義とは何なのか。それを自称する側に身を寄せる日本は、本当に民主主義の国なのか？

「広辞苑」は民主主義を、「権力は人民に由来し、権力を人民が行使するという考えとその政治形態」と定義する。具体的には(1)参政権の保障、(2)複数政党、(3)公選による首長、(4)政権交代の可能な公正な選挙——の4条件が不可欠とするとの解説を、最近、新聞で読んだ。日本も体裁は整っているらしい。実質はどうか。

たとえば6月19日のNHK「日曜討論」だ。「数十年にわたり法人税は減税。お金持ちはさんざん優遇してきた。消費税減税をしないのはおかしい」というれいわ新選組の大石晃子政審会長の指摘に、自民党の高市早苗政調会長が、「消費税が法人税の引き下げに流用されているかのような発言があったが、まったくの事実無根。デタラメを公共の電波で言うのはやめていただきたい」と色をなした。

デタラメは高市氏である。消費税と法人税の税率も税収も、ほぼ反比例の関係にあるからだ。公の統計でも一目瞭然であるにもかかわらず、NHKの司会者は大石氏の反論を封じ、高市氏の言いつ放しにさせていた。

翌週26日の「日曜討論」も酷かった。全野党が物価高対策に掲げる消費税減税について、これも自民党の茂木敏充幹事長が、「(税率を)下げると年金財政を3割カットしなければなりません」。議論の大前提となるべき税収の使途は明確にする気はカケラもない。チンピラまがいの恐喝だった。

自画自賛に終始した東京五輪大会組織委の公式報告書。台湾有事の際の沖縄戦場化を当然視する“安保”政策とやらも。

日本だけを買めるつもりはない。欧米もまた、この間には異質な文明社会に対する侵略行為を重ねまくってきた。拳銃やライフルの乱射事件が絶えず繰り返されている米国は、ありゃあ、何だ。

しょせんは目クソ鼻クソをわらう、のたぐいなのである。安倍晋三元首相でもあるまいし、バカの一つ覚えの自画自賛はいい加減にしてもらいたい。



斎藤貴男ジャーナリスト 1958年生まれ。早大卒。イギリス・パーミンガム大学で修士号（国際学MA）取得。日本工業新聞、プレジデント、週刊文春の記者などを経てフリーに。「戦争経済大国」（河出書房新社）、「日本が壊れていく」（ちくま



新書)、『明治礼賛』の正体」(岩波ブックレット)など著書多数。

## 参院選でも保守4党の改憲議席確保有力...憲法に自衛隊が明記されるか

朝鮮日報 7/5(火) 10:04 配信

10日に投開票が行われる日本の参議院議員選挙において、憲法改正を目指す政治勢力が改正案発議の可能な議席数を確保する可能性が高まっている。毎日新聞、読売新聞、日本経済新聞が4日に公表した世論調査の結果によると、改憲支持政党が反対政党よりも高い支持率を確保し、3分の2以上の議席を確保する見通しだ。日本の軍隊保有を禁じた平和憲法は1946年に制定されて以来、1回も改正されたことはないが、今回の選挙で改憲勢力が前例のない勢いを持つとの見方が相次いでいる。毎日新聞は4日に発表した世論調査(2-3日実施)の内容分析に基づき、改憲支持政党の自民党、公明党、日本維新の会、国民民主党の4党が今月投開票の行われる参議院選挙の改選議席数125議席のうち合計76-103議席を確保すると予想した。これに対して改憲に反対する世論を引っ張ってきた立憲民主党、日本共産党、社会民主党の3党は16-32議席にとどまりそうだ。同じ日に発表された読売新聞の世論調査でも4党は78-105議席と予想されており、日本経済新聞は政党ごとの推定議席数は公表しなかったが「改憲勢力による3分の2確保は可能とみられる」と分析した。現在の流れが変わらなければ、改憲勢力の無難な勝利で終わる可能性が高そうだ。日本の参議院(248議席)は3年ごとに選挙が行われ、議員の半分が交代する。改憲支持4党は今回の参議院選挙で82議席以上の議席を目標としている。改憲支持4党は今回選挙が行われない議席のうち83議席を確保しており、無所属の1人も改憲を支持している。そのため10日の選挙で82議席をさらに確保すれば、改憲に必要な3分の2(166議席)以上を占めることになる。日本では憲法改正のためには参議院に加え衆議院でも3分の2以上の議員が改正に賛成しなければならない。その後の国民投票でも過半数が賛成しなければならない。以前も改憲勢力が参議院と衆議院で3分の2以上の議席を確保したことはあるが、その差がわずかで世論の動きを見極める必要があった。しかし昨年の衆議院選挙で改憲勢力が3分の2(310議席)を超え4分の3(352議席)を確保したことから雰囲気が変わった。とりわけ今回の参議院選挙は2020年に発足した国民民主党が自民・公明・日本維新の会に続き4番目に改憲支持に名乗りを上げ、圧勝の世論を引き出す可能性も考えられる。国民投票の結果を予想する世論調査でも、ロシアによるウクライナ侵攻後は改憲を求める世論が高まっている。例えば今年4月に読売新聞が行った世論調査では60%以上の日本人が改憲に賛成し、反対は38%にとどまった。同じ方式の世論調査が始まった2015年以来、最も高い数値だった。日本と悪縁のあるロシアによるウクライナ侵攻を目の当たりにした多くの日本人が軍事力増強に賛成する雰囲気変わったのだ。自民党を含む改憲勢力は「戦争するというのはなく、自衛隊の違憲論争を解消するための憲法改正」と主張している。しかし最近では有事に「先制攻撃」を行うため「もっと踏み込んだ改憲が必要」との立場に変わっている。日本の自民党は先日、自衛隊にいわゆる「反撃能力」を与えるべきとの考えを示しているが、これは実際の先制攻

撃に近い。反撃能力は、日本が敵国による攻撃の動きを事前に探知し、敵のミサイル基地や指揮本部へ攻撃することを意味するからだ。平和憲法の改正がなければこの反撃能力も間違いなく違憲論争に巻き込まれる。安倍晋三・元首相は「参議院選挙で安定した政治基盤を確保し、(憲法改正に向けた議論を)さらに確実に進めていこう」と強く呼びかけている。東京新聞は「今年上半期の通常国会で衆議院では憲法第9条改正などを中心にほぼ毎週1回、合計15回の憲法審査会が開かれた」「改憲勢力が参議院選挙で議席数を増やせば、日本の歴史上初めて憲法改正の発議を実現させようと本格的に動き出すだろう」と報じた。東京=成好哲(ソン・ホチョル)特派員

## 参院選のダークホース「参政党」の正体に迫る #カルトじゃない)と主張するが実態は?

日刊ゲンダイ公開日:2022/07/06 06:00 更新日:2022/07/06 06:00



事務局長の神谷宗幣氏(撮影)藤倉善郎

街宣でやたらと多数の聴衆を集めている参政党。国政選挙初登場ながら当選者が出るのではと、「穴馬」扱いする声も聞かれる。

一方、7月1日にツイッターでは、参政党公式アカウントが「#参政党はカルトじゃない」とのハッシュタグを投稿しトレンド入り。逆に「#参政党はカルト」と投稿し、参政党を批判するハッシュタグも登場した。カルトだとかカルトじゃないとか、「参政党」とは一体何なのか。

### ■自民党の補完勢力なのか?

参政党は2020年に結成。当初からの中心メンバーで現在も党の「顔」となっているのが、事務局長の神谷宗幣氏だ。07年に大阪の吹田市議に初当選。10年に「龍馬プロジェクト」として、地方議員や国会議員を集めた保守系の政治運動を始める。12年衆院選では自民党から比例近畿ブロックで立候補するも落選した。

龍馬プロジェクトには自民党の大岡敏孝・杉田水脈両衆院議員が「会議員参与」として参加。また神谷氏は19年、靈感商法などが長らく社会問題化しているカルト宗教「統一教会」(現・世界平和統一家庭連合)系メディアの関係者が主催するイベントに登壇。関係者は、参政党の結成メンバーにも加わっていた(すでに離党)。

そのため、ネット上では参政党を「自民党の補完勢力」「バックに統一教会」などと評する声が見られる。しかし、参政党と自民党や統一教会と直接の協力関係や主従関係は確認できない。むしろ街宣では、参政党候補から堂々と政府・自民党への批判も語られる。全選挙区に候補者を立てており、自民党に特段の「配慮」している気配もない。

「自民党の補完勢力」「バックに統一教会」と評するのは、極端すぎるかもしれない。

### ■政治資金パーティー「SS席」10万円でも5000人が参加

参政党の勢いを端的に示すのが、集金力と集客力だ。6月27日時点で、3億9060万円の寄付を集め(目標は5億円)、街宣

では武田邦彦氏人気で公示前から数百人の聴衆を集めた。ある時は、武田氏にサインを求める長蛇の列ができた。

ボリュームゾーンは中高年の男女。しかし若者の姿も少なくはない。一般メディアはほとんどいないのに、聴衆の最前列には携帯電話などを据えた三脚がズラリと並ぶ。YouTuber などネット配信者たちだ。

5月8日にパシフィコ横浜で開催した政治資金パーティー「イシキカイクサミット 2022」は、参加料金が一般 2 万円から。SS 席は 10 万円。この料金でなんと 5000 人以上を集めた。同料金で8月21日に幕張メッセで「国政政党誕生 予祝パーティー」を予定しており、前売り券はすでに売り切れた。

神谷氏が代表を務める「イシキカイク.com」で販売されているグッズも、なかなかのお値段。関連する「イシキカイク大学」での講座 DVD セットが最大 24 万円 (10 講師分セット)。「活性エキス」(10cc、1 万 1800 円)、「高品質なプレミアムマコモ」(260g、1 万 5120 円) といった健康食品まで販売されている。

のめり込むと、かなりカネがかかりそうだ。支持層に保守的な小金持ちがそれなりにいることをうかがわせる。

実は「反ワクチン政党」



街宣に立ちたくさんの聴衆を集める武田邦彦氏

(撮影) 藤倉善郎

参政党が保守系政治団体であることは間違いないが、それだけではない。実は、参院選前から新型コロナ関連で極端な反ワクチンをアピールしてきた団体でもある。

比例で立候補している赤尾由美氏は政見放送で、日本の既存政党が利権団体や中国、アメリカ、グローバル企業に日本人の生命や健康まで売り渡していると主張した。

「たとえばワクチン問題です。YouTube でワクチンと言うと、動画を削除されてしまいます。政府やマスコミがワクチン推奨をしていたからこその言論統制だと私は思っています」(赤尾氏)

神谷氏が今年2月にYouTube から削除されたとしている街宣の動画を、ニコニコ動画で確認した。公示後は物言いが柔らかくなっている感があるが、公示前はかなり露骨だった。

「自分はワクチンを打っていないし、子供にも打たせませんですよ。コロナだけじゃなく、他のも打っていません。だって、(隣にいる) 吉野さんがいつも言うように、しっかり食べてしっかり寝ていたら免疫ちゃんと維持できるでしょ？ 人類そうやって何万年も生きてきたんじゃないですか」(神谷氏)

宮城選挙区で立候補のローレンス綾子氏も、昨年11月に自身のフェイスブックで、反ワクチンを訴える「世界同日デモ in 仙台」の告知画像を添えて「明後日だよー！！」と投稿。昨年12月にはYouTube で、コロナワクチンも含めワクチン全般を疑問視。同じ動画で「トランプさんの大ファン」と語る一方で、ワクチンを推奨した点ではトランプに賛成できないとしている。

■波動？ メタトロン？

神谷氏の演説で登場する「吉野さん」は、参政党の共同代表で比例候補者の吉野敏明氏。歯科医師でもあるが、ユニークな医療

観の持ち主だ。「東洋医学と西洋医学を融合した包括治療・未病治療・波動治療」をうたう誠敬会クリニック銀座の院長を務める。

「波動」は、科学的根拠が疑問視される民間療法やニセ科学の世界でしばしば出会う単語だ。「波動医療」とも呼ばれる。同クリニックのサイトでは、「波動測定器メタトロン」なる機械で、健康状態をチェックできるとしている。メタトロンは電極を仕込んだバンド状の機械で、頭に取り付けて人体の「波動」の周波数を測定するものとされる。

「生体(臓器、細胞)から出ている固有の周波数を分析して、周波数のずれているポイントを詳しく分析し、機能不全ポイントを明確にします」(誠敬会クリニック銀座の公式サイト)

神谷氏が代表を務める前出の「イシキカイク.com」にも、吉野氏がメタトロンをアピールするYouTube 動画が掲載されている。タイトルは「【医療はもともとスピリチュアル】メタトロン計測で驚きの結果が…」。メタトロンでは「愛」や「怒り」といった感情ばかりか、「だらしがない」などの性格を示す「周波数」まで測定できるのだという。

■YouTube から削除されないための「流行り病」「お注射」という隠語

神奈川選挙区で立候補している藤村晃子氏の街宣を、公示直前の6月18日に聞きに行った。

「日本の総理は権力を使って、資本家たちに有利な政治だけを進めている。だから、8億円もの必要のないお注射を買い取ったりですね。(略)いま1500人以上がこのお注射で亡くなっている。私達の命までも取りに来ているんですよ。(略) こういうのを医療マフィアって呼ぶんですよ！」

聴衆から「そうだ！」という声も飛ぶ。「お注射」はワクチンのこと。新型コロナは「流行り病」と表現する。YouTube での動画削除への対策のようだ。

藤村氏や前出の赤尾氏含め、他の参政党候補者たちは、外国資本の手先と見なした日本の政府や政治家を「グローバリスト」と呼ぶ。一方、藤村氏は、ツイッターでは時折「DS」という単語も使う。これは「ディープ・ステート」(影の政府)のこと。そう、20年の米国大統領選でトランプを支持した陰謀論集団「Qアノン」が口にしてきた、あれだ。

反ワクチン集団「神真都Q」との関係



反ワクチン集団「神真都Q」(撮影) 藤倉善郎

コロナワクチン不要論、スピリチュアルな独自の医療観、ディープ・ステート等のQアノンに似た陰謀論、ナショナリズムを強調する保守志向。今年3~4月にかけてワクチン接種会場に押しかけ建造物侵入容疑で計8人が逮捕された反ワクチン集団「神真都(やまと)Q」とも、よく似ている。

組織として参政党と神真都Qと関係しているという意味ではない。しかし神真都Qのチャットでは、参政党を好意的に紹介する投稿がちらほら目につく。

神真都Qの逮捕者たちの弁護を引き受けている「反ワクチン弁護士」の木原功仁哉氏も、兵庫選挙区で立候補している(無所



属)。それなのに神真都 Q メンバーが参政党を推すのも薄情な話だが、それだけ参政党への期待が大きいのだろう。

さらに言えば、神真都 Q 側の一方的支持とも言い切れない。公示前、5月13日の新橋で、前出の吉野氏とともに街頭演説した松田学氏（参政党共同代表、比例）は、神真都 Q を名指し、「我々のようにまともに」物を言う人々と呼んで擁護した。神真都 Q メンバーが逮捕された事件の約1カ月後のことだ。

神真都 Q を含め複数の反ワクチン団体をまたいで活動する別グループのチャットでも、参政党を推す声が散見される。

組織的つながりの有無とは別に、どのような層から支持されているのかという点も、参政党の主張の文脈や実態を知る手助けになる。「カルト」かどうかは置くとしても、かなりユニークすぎる政治団体運動であることは間違いない。

（取材・文＝藤倉善郎／ジャーナリスト）

## 食品の6割、値上がり うち半数で販売額減

日経新聞 2022年7月6日 2:00 (2022年7月6日 3:39 更新)

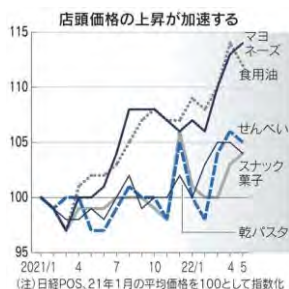


コーヒー製品などの値上がりが進む（東京都練馬区のいなげや練馬上石神井南店）

原材料価格などの高騰を背景とした食品の小売価格の上昇が鮮明になってきた。パンや冷凍食品など主要60品目のスーパーでの店頭価格は6割の品目で1年前より上昇した。一方で値上がり品目の半分は販売額が減った。食品メーカーの相次ぐ値上げが消費者の買い控えや割安な商品へのシフトを招いた可能性があり、賃金が伸び悩む状況での価格転嫁の難しさが浮き彫りになった。

全国のスーパー約470店の販売データを集める日経POS（販売時点情報管理）情報をもとに主な食品60品目の店頭価格の推移を分析した。2021年5月は店頭価格が1年前より高い品目は21品目（35%）だったが、22年5月は1年で37品目（62%）が上昇した。

特に12品目で上昇幅が5%を超えた。食用油（11%）やマヨネーズ（15%）などが目立った。



新型コロナウイルス禍に入る前はメーカーが値上げを表明しても店頭価格に波及しない例も多かった。しかしコロナ禍やウクライナ危機による今回の原材料高は「メーカーだけで吸収できる水準ではなく、小売も消費者に転嫁せざるをえない」（大手スーパー）。

一方、値上がりは消費者の買い控えも招いたようだ。5月に値上がりした37品目のうち54%にあたる20品目は来店客1000人

あたりの販売金額が前年同月より減った。

例えば乾パスタは販売数量が8%減り、販売金額も2%減った。単価が上がったにもかかわらず販売金額まで減少することは、消費者の買い控え傾向を映したとみられる。マーガリンも数量が11%、金額が5%減った。ソーセージも数量・金額ともに減少した。

5月の販売金額が増えたのはマヨネーズなど。有力メーカーの数が限られる品目が目立った。日常的によく使われ、他の品目で代替が難しいものも買い控えされにくいとみられる。

値上がり品目により販売実績はばらつく

	平均価格	金額	個数
マヨネーズ	221.1円 (15%)	▲8%	▲6%
冷凍食品	221円 (2)	2	▲1
菓子パン・蒸しパン	107円 (5)	7	1
乾パスタ	190.1円 (7)	▲2	▲8
マーガリン・ファットスプレッド	204.8円 (7)	▲5	▲11
ソーセージ	290.4円 (2)	▲2	▲4

(注) 平均価格は5月実績でカッコ内は前年同月上昇率、金額・個数は1000人あたり実績の前年同月比増減率。出所は日経POS。▲はマイナス

同じ品目のなかで割安な商品に消費者が流れる傾向もみてとれた。レギュラーコーヒーでは「ナショナルブランド (NB)」と呼ばれるメーカー商品の販売数量や金額が1年前より減った一方、小売り側の自社開発品である「プライベートブランド (PB)」は数量や金額を伸ばした。

主要60品目のうちPB商品を確認できた57品目の販売数量は、約7割の品目でPBのシェアが1年前より大きくなった。

メーカーの値上げ姿勢はなお強い。帝国データバンクによると、食品メーカー主要105社の1万5000を超える商品で22年に値上げの予定（6月までの実施分含む）がある。秋には清涼飲料やビールなどの値上げが本格化する。

ただ消費者は所得が増えないなかで生活防衛の意識を一段と高めるとみられる。買い控えが広がるとメーカーの値上げが難しくなり収益の圧迫要因にもなりかねない。

## オウム被害の滝本弁護士はなぜLGBT条例に反対か

産経新聞 2022/7/5 10:00

滝本太郎（たきもと・たろう）弁護士 オウム真理教被害対策弁護団に加わるなど同教団をめぐる裁判に長年関わり、脱会した元信者を支援する「カナリヤの会」の活動も続ける。65歳。＝令和4年6月、神奈川県大和市（菅原慎太郎撮影）  
ちょっと待って！埼玉県LGBT条例案 滝本太郎弁護士インタビュー

性的少数者（LGBT）運動が盛り上がる中、埼玉県議会で自民党議員団が提出したLGBT条例案が議論を呼んでいる。男女の性別は生まれつきの性別ではなく、本人が決めるべきだという

「性自認」の考え方などが「極端だ」と指摘されているためだが、中でも弁護士の滝本太郎氏は「女性の権利を侵害する」「性の無政府主義だ」と強く批判する。オウム真理教などカルト問題をライフワークにしてきた滝本弁護士が今なぜ、LGBT条例案に厳しい言葉を語るのか。真意を聞いた。（菅原慎太郎）

「女性の権利を侵害する」

—条例案に批判的な理由は？

「性別は自分で決めることができるという性自認の論理は問題



がある。『多様性を尊重』『差別してはならない』というのは一見、いいことを言っているようだが、現実的には『女性』と自称する男性も社会は女性として扱わなければならないということ。例えばその人が女性トイレに入るのも認めなければならないということになる。これは女性の権利を無視し、安全・安心を脅かしている」

「海外ではトランスジェンダー女性（生まれつきの性別は男性、性自認は女性）が女子スポーツで他の女性選手を上回る成績を記録したり、女性刑務所で性トラブルを起こしたりしていることが問題となっている。同種の条例は他の自治体にもあるが、4月には英国で首相が問題は正に乗り出す姿勢も示しており、埼玉県議会は条例制定すべきではない。おそらく最終的には国の法律を作ろうというのが、性自認を掲げる『トランスジェンダリズム』の運動だろう。しかし、行き着く先はフェミニズムの終焉（しゅうえん）。昔は女性トイレはなかったが、女性運動でできた。そうした女性を守る仕組みが次々となくなれば、フェミニズムの成果も理念も骨抜きになる」

性自認の論理は「性の無政府主義だ」

—トランスジェンダリズムは「右派・保守派が批判している」といわれるが、フェミニズムはどちらかという左派的思想。政治の左右は関係なく批判すべき問題ということか

「本当にそうだね。これが大問題なのは、女性・男性の定義を変えてしまうから。自分で性別を決められることになると、生まれつきの性別を原則とする今の医療や統計、社会制度はめちゃくちゃになる。『性の無政府主義』だ。最後は崩壊せざるを得ないと思う」

—性同一性障害（最近「性別不合」とも呼ばれる）の人たちは、こうした運動をどう考えるか

「私が知る団体の人たちは『迷惑な話だ』と言っていた。例えば性同一性障害の男性は自分に男性器があることに身体違和があり、これに苦しむ。その治療として性別適合手術があるのだが、トランスジェンダーの人には身体違和がない場合が多い。しかし、こうした運動は性同一性障害も『広義のトランスジェンダー』と呼び、一緒のものとして運動する。性同一性障害の人でも考えはさまざまだが、運動が崩壊したとき、反作用で性同一性障害への偏見が強まるのが心配」

—条例案には同性婚のような同性パートナーシップも盛り込まれている

「同性愛は自由だし、ほかに迷惑をかけるわけでもない。私は同性婚は認めていいと思う。ま、これについては、性自認の論理に反対する仲間の中でもみんな意見が違うけど」

—同性婚を認めないのは憲法違反と考えるか

「それについては違憲だとは思わない。憲法はもともと同性婚を想定していなかったし、婚姻を『両性の合意』で成立すると定める。男女がカップルになるのが自然だからでしょう。ただ、法律で同性婚を認めることは憲法は禁止していないと思う。同性愛では子供ができないから結婚は認められないというが、高齢者の夫婦も子はいない。子供ができようと思えば、兄弟姉妹の間の結婚を認める人はいないだろう。同性婚への違和感が低くなってきたのなら法律で認めてもいいのでは」

カルトと闘った弁護士がなぜ？

—あなたは無差別テロや坂本堤弁護士殺害事件などを起こしたオウム真理教と闘い、自身も命を狙われた弁護士。カルト問題に詳しいイメージだが、なぜ今回のような問題に取り組むようになったのか

「友人の坂本弁護士が突然なくなったことをきっかけにオウム事件と関わった。以来、カルト問題に対応することになったが、カルトは外部の人間との議論を遮断するなど、さまざまな問題があることを知った。昨年8月、性自認の問題点に気づき発言を始めたところ、いきなり『差別だ』『黙れ』と議論を封じようとする人たちがいた。これはおかしいと」

—LGBT問題に深く関心を持ったきっかけは

「昨年5月に、自民党の『LGBT理解増進法案』の国会提出が見送られたこと。私は性的少数者への『理解増進』の理念はいいことだと思うから、反対する自民党議員には批判的だった。ところが、その後、インターネットやSNSで、『法案』を支持する人たちには法制化すればトランス女性も女性トイレに入ると『公認』されると考える人が結構いることに気づき、これは問題だ」と

「私もトランスジェンダーに同情するし、尊重すべきだと思う。仕事で差別されたり、日常生活で揶揄（やゆ）されたりすることはあってはならない。しかし、トイレなど女性スペースに入れるようにするかは別問題で、慎重な議論が必要だ。そう思ったから、同じ考えの女性たちと『女性スペースを守る会』という団体をつくったが、反発を受けている。メンバーは氏名をネット上で明かされる『身バレ』攻撃や電話などの嫌がらせを受けている。私は弁護士としてその防波堤役をしているつもりだ」

◇

■埼玉県のLGBT条例案 性の多様性尊重を理念に、自分を男性と認識するか女性と認識するかなどの「性自認」や性的指向による不当な差別的取り扱いを禁じる。県議会で審議中で7日に採決の見通し。